

福岡市保健福祉総合計画（含：地域福祉計画）の 進行管理について

目 次

I	福岡市保健福祉総合計画の基本理念等	2 ページ
II	福岡市保健福祉総合計画のモニタリング指標について	3 ページ
III	福岡市保健福祉総合計画の計画目標について	8 ページ
IV	平成 24 及び 25 年度市政アンケート調査結果（抜粋）の比較	9 ページ
V	平成 24 年度地域福祉施策の実施状況について	14 ページ
(参考) 平成 25 年度第 3 回市政アンケート調査結果と分析		17 ページ

平成 25 年 11 月

福岡市保健福祉局政策推進課

I 福岡市保健福祉総合計画の基本理念等

地域には、高齢者や障がいのある人など、日常的な介護や支援を必要とする人や、深刻な課題を抱えている人、自立して生活できる人がともに生活しています。

個々人が抱える課題の背景には様々な要因がありますが、少子高齢化、社会経済情勢の変化とともに、家庭、地域社会、企業などの相互扶助機能が低下していることとも深い関わりがあり、これらの課題の解決に向けて、市民、事業者、行政などが、自らできることを実践しながら、相互に支え合い、すべての市民が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりが求められています。

基本理念

市民が自立し、かつ相互に連携して支え合うという精神のもとに、
高齢者や障がいのある人をはじめすべての市民が一人の人間として尊重され、
住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができる
ハード・ソフト両面に調和のとれた健康福祉のまちづくり

基本施策

3つの視点

【 自 助 】

生きがいのある
健康な暮らし

【 共 助 】

支え合いのある
地域づくり

【 公 助 】

安全・安心な
市民生活

- 1 市民一人ひとりへの適切な情報提供
- 2 相談しやすい体制づくり
- 3 良好なサービスを選択できる仕組みづくり
- 4 社会全体で進める生きがい・健康づくり
- 5 学習・教育機会の拡充
- 6 人材の育成
- 7 地域における保健福祉活動の活性化
- 8 要援護者の支援
- 9 生活の安定確保
- 10 生活の安心確保
- 11 医療体制・健康危機管理体制の充実
- 12 暮らしの衛生向上
- 13 「ユニバーサルなまちづくり」の推進

Ⅱ 福岡市保健福祉総合計画のモニタリング指標について

(1) モニタリング指標

福岡市保健福祉総合計画では、自分や家族が健康で生きがいを持って暮らす「自助」、地域で相互に支え合う「共助」、各種社会保障制度をはじめとする保健福祉サービスなど、自助、共助だけでは解決の困難な部分を支える「公助」の３つの視点を踏まえて、次のとおり「モニタリング指標」を設定しています。

福岡市保健福祉審議会において定期的に指標の推移をモニターし、基本理念実現のための施策の有効性評価などを行うこととします。

視点	モニタリング指標
自助	○保健・医療・福祉に関する情報提供について、どの程度満足しているか ○保健・医療・福祉に関する相談について、どの程度満足しているか
共助	○住民参加による地域での支え合い活動に参加しているか ○今後、住民参加による地域での支え合い活動が行われる場合、どのように関わりたいか
公助	○福祉の充実についてどの程度満足しているか

(2) 平成 25 年度第 3 回市政アンケート調査について

モニタリング指標の調査のため、市政アンケート調査を実施しました（詳細は、6 ページ以降）。

- ① 実施主体：市長室広聴課
- ② 実施時期：8 月 3 0 日～9 月 1 7 日（年間 6 回実施する内の 3 回目）
- ③ 調査目的：福岡市の施策や事業の推進の参考とするとともに、市民の市政への関心や理解を深めていただくため
- ④ 調査対象：福岡市内に居住する満 20 歳以上の男女（市政アンケート調査協力員 約 600 名）
- ⑤ 回収結果：540 件／648 件（回収率：83.3%）
- ⑥ 調査テーマ：ア 「福岡市の広報活動」について（市長室広報課）
イ 「福岡市の保健福祉」について（政策推進課） 16 問
ウ 「福岡市議会の広報活動」について（議会事務局調査法制課）

(3) モニタリング指標の推移

視点	モニタリング指標	平成 21 (2009) 年度 市政に関する意識調査 (回答者数=2,633 人)	平成 24 (2012) 年度 市政アンケート調査 (回答者数=546 人)	平成 25 (2013) 年度 市政アンケート調査 (回答者数=540 人)
自 助	○保健・医療・福祉に関する情報提供について、どの程度満足しているか		① 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内に満足している割合 25.1%	① 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内に満足している割合 33.5%
			② 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内に不満がある割合 6.6%	② 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内に不満がある割合 6.5%
共 助	○保健・医療・福祉に関する相談について、どの程度満足しているか		① 保健・医療・福祉に関する相談体制に満足している割合 10.8%	① 保健・医療・福祉に関する相談体制に満足している割合 13.7%
			② 保健・医療・福祉に関する相談体制に不満がある割合 5.1%	② 保健・医療・福祉に関する相談体制に不満がある割合 5.6%
共 助	○住民参加による地域での支え合い活動に参加しているか	①「参加している」+「たまに参加している」人の割合 31.0%	①「参加している」+「たまに参加している」人の割合 33.0%	①「参加している」+「たまに参加している」人の割合 33.4%
		②「ほとんど参加していない」+「参加していない」人の割合 51.1%	②「ほとんど参加していない」+「参加していない」人の割合 54.2%	②「ほとんど参加していない」+「参加していない」人の割合 55.8%
公 助	○今後、住民参加による地域での支え合い活動が行われる場合、どのように関わりたいか	①「参加したい」+「機会があれば参加したい」人の割合 62.8%	①「参加したい」+「機会があれば参加したい」人の割合 65.0%	①「参加したい」+「機会があれば参加したい」人の割合 67.0%
		②「どちらかといえば参加したくない」+「参加したくない」人の割合 33.7%	②「どちらかといえば参加したくない」+「参加したくない」人の割合 33.1%	②「どちらかといえば参加したくない」+「参加したくない」人の割合 32.5%
公 助	○福祉の充実についてどの程度満足しているか	① 満足している」+「どちらかといえば満足している」人の割合 33.0%	① 「満足している」+「どちらかといえば満足している」人の割合 43.3%	① 「満足している」+「どちらかといえば満足している」人の割合 48.9%
		② どちらかといえば不満」+「不満である」人の割合 40.1%	② 「どちらかといえば不満」+「不満である」人の割合 17.8%	② 「どちらかといえば不満」+「不満である」人の割合 15.7%

○福祉の充実についてどの程度満足しているか。

調査数
性・年齢別

(n=540)

	満足している (a)	どちらかといえば満足 (b)	満足している合計 (a+b)	どちらかといえば不満 (c)	不満がある (d)	不満がある合計 (c+d)	わからない	無回答
合 計	7.4	41.5	48.9	13.3	2.4	15.7	33.7	1.7
男性 計	8.0	43.9	51.9	12.2	3.1	15.3	30.9	1.9
20 代	9.7	35.5	45.2	16.1	3.2	19.3	32.3	3.2
30 代	1.9	39.6	41.5	11.3	3.8	15.1	43.4	-
40 代	5.4	42.9	48.3	12.5	3.6	16.1	35.7	-
50 代	7.0	46.5	53.5	7.0	2.3	9.3	34.9	2.3
60 代	15.4	48.7	64.1	10.3	5.1	15.4	20.5	-
70代以上	12.5	50.0	62.5	17.5	-	17.5	12.5	7.5
女性 計	6.8	39.2	46.0	14.4	1.8	16.2	36.3	1.4
20 代	7.1	26.2	33.3	16.7	-	16.7	50.0	-
30 代	4.7	46.5	51.2	14.0	-	14.0	34.9	-
40 代	4.0	36.0	40.0	10.0	2.0	12.0	48.0	-
50 代	2.2	28.3	30.5	21.7	6.5	28.2	39.1	2.2
60 代	10.6	38.3	48.9	10.6	-	10.6	38.3	2.1
70代以上	12.0	58.0	70.0	14.0	2.0	16.0	10.0	4.0

○「満足している」又は「どちらかといえば満足している」と答えた方（48.9%＝264人）が、満足している内容

内 容	回答人数	n=540 のとき
保健・医療・福祉に関する情報提供や案内	181 人	33.5%
保健・医療・福祉に関する相談体制	74 人	13.7%

○「不満がある」又は「どちらかといえば不満」と答えた方（15.7%＝85人）が、不満がある内容

内 容	回答人数	n=540 のとき
保健・医療・福祉に関する情報提供や案内	35 人	6.5%
保健・医療・福祉に関する相談体制	30 人	5.6%

○住民参加による地域での支え合い活動に参加しているか。

調査数
性・年齢別

(%)

	参加している (a)	たまに参加している (b)	参加している合計 (a+b)	ほとんど参加していない (c)	参加していない (d)	参加していない合計 (c+d)	そのような活動がある ことを知らない	無回答
合 計	14.3	19.1	33.4	18.0	37.8	55.8	10.0	0.9
男性 計	15.6	16.8	32.4	19.5	38.2	57.7	9.5	0.4
20 代	3.2	6.5	9.7	25.8	41.9	67.7	22.6	-
30 代	11.3	9.4	20.7	24.5	41.5	66.0	11.3	1.9
40 代	17.9	21.4	39.3	17.9	32.1	50.0	10.7	-
50 代	11.6	18.6	30.2	23.3	41.9	65.2	4.7	-
60 代	12.8	20.5	33.3	17.9	43.6	61.5	5.1	-
70代以上	35.0	22.5	57.5	7.5	30.0	37.5	5.0	-
女性 計	12.9	21.2	34.1	16.5	37.4	53.9	10.4	1.4
20 代	-	11.9	11.9	21.4	54.8	76.2	11.9	-
30 代	9.3	14.0	23.3	23.3	32.6	55.9	20.9	-
40 代	-	36.0	36.0	12.0	38.0	50.0	14.0	-
50 代	15.2	19.6	34.8	19.6	37.0	56.6	6.5	2.2
60 代	25.5	17.0	42.5	10.6	34.0	44.6	10.6	2.1
70代以上	26.0	26.0	52.0	14.0	30.0	44.0	-	4.0

○今後、住民参加による地域での支え合い活動が行われる場合、どのように関わりたいか。

調査数
性・年齢別

(%)

	参加したい (a)	機会があれば参加したい (b)	参加したい合計 (a+b)	どちらかといえば参加したくない (c)	参加したくない (d)	参加したくない合計 (c+d)	無回答
合 計	4.6	62.4	67.0	26.9	5.6	32.5	0.6
男性 計	5.7	61.1	66.8	27.1	5.7	32.8	0.4
20 代	3.2	74.2	77.4	19.4	3.2	22.6	-
30 代	9.4	60.4	69.8	22.6	7.5	30.1	-
40 代	1.8	55.4	57.2	37.5	5.4	42.9	-
50 代	4.7	65.1	69.8	25.6	4.7	30.3	-
60 代	2.6	69.2	71.8	20.5	7.7	28.2	-
70代以上	12.5	47.5	60.0	32.5	5.0	37.5	2.5
女性 計	3.6	63.7	67.3	26.6	5.4	32.0	0.7
20 代	2.4	54.8	57.2	35.7	7.1	42.8	-
30 代	4.7	65.1	69.8	25.6	4.7	30.3	-
40 代	-	60.0	60.0	32.0	8.0	40.0	-
50 代	2.2	73.9	76.1	17.4	4.3	21.7	2.2
60 代	2.1	70.2	72.3	25.5	2.1	27.6	-
70代以上	10.0	58.0	68.0	24.0	6.0	30.0	2.0

Ⅲ 福岡市保健福祉総合計画の計画目標について

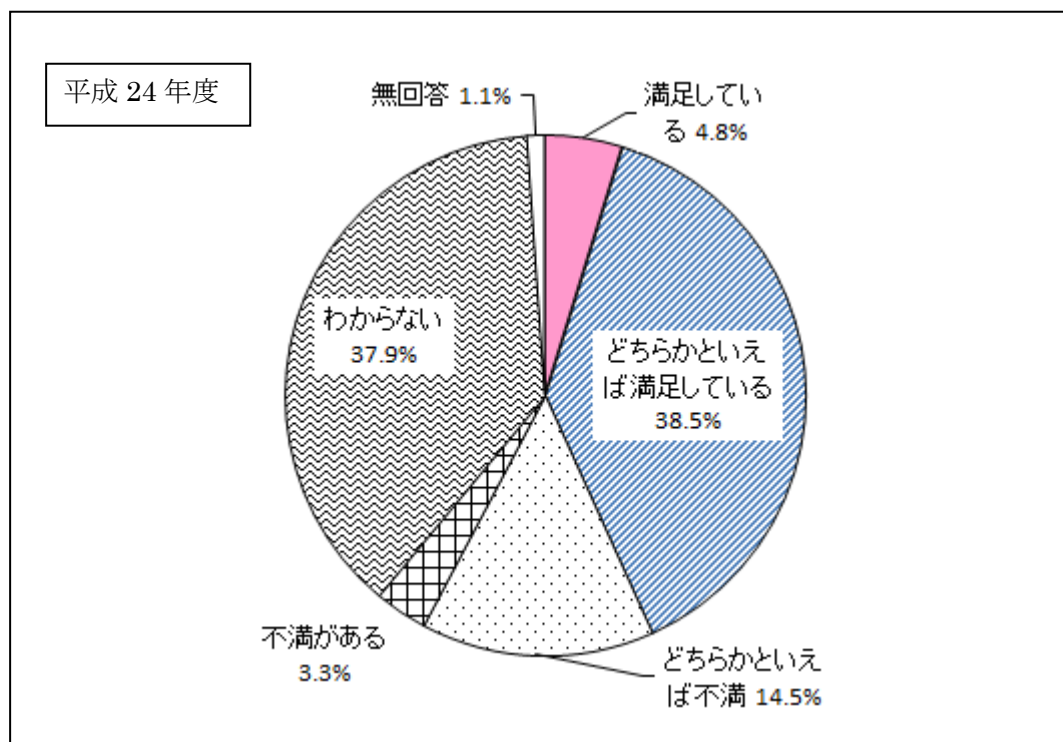
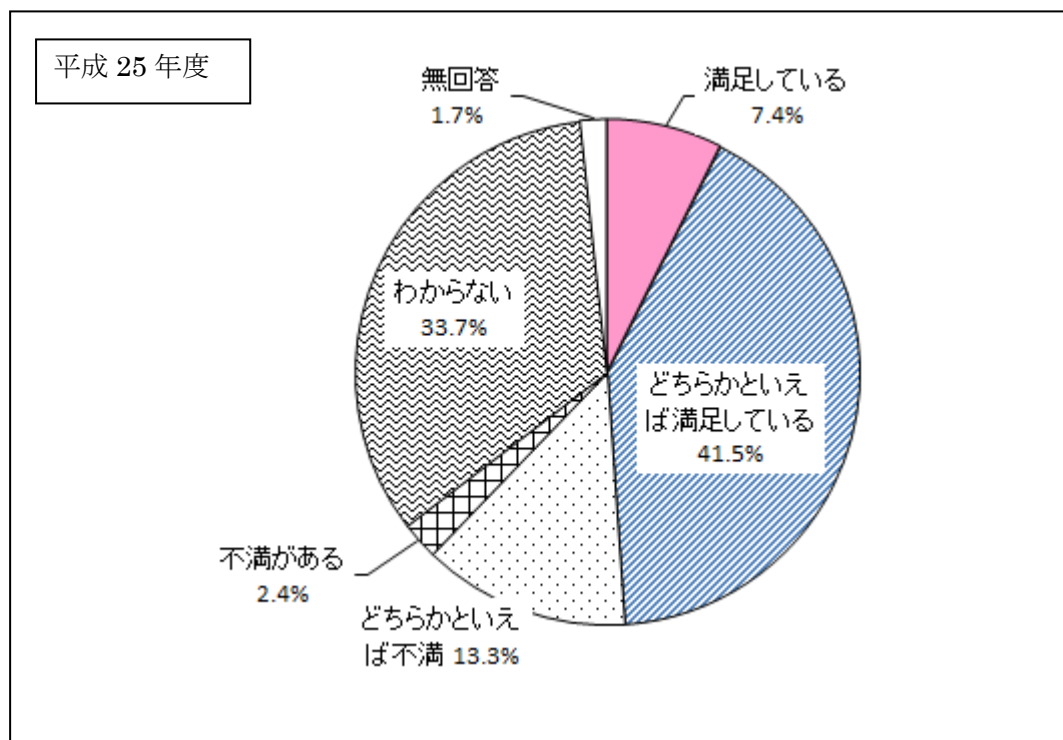
福岡市保健福祉総合計画は地域福祉計画としての内容も併せ持っていることから、地域福祉分野の取組みについては、「モニタリング指標」とは別に、計画目標等を設定し、定期的に進捗状況を把握します。

取組内容	計画目標・スケジュール等	平成 23 年度 実績	平成 24 年度 実績
○ふれあいネットワークを構築している自治会・町内会の数 ふれあいネットワークを構築している自治会・町内会の数の拡大に取り組みます。	【現状（平成 22 年度）】 1,635（72.2%） 【目標（平成 27 年度）】 2,040（90.0%）	1,638（71.5%）	1,648（72.0%）
○ふれあいサロンの箇所数 ふれあいサロンを実施している箇所数の拡大に取り組みます。	【現状（平成 22 年度）】 282 箇所 【目標（平成 27 年度）】 330 箇所	292 箇所	316 箇所
○地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業の実施 地域福祉ソーシャルワーカーモデル事業を通して、地域での福祉活動への支援やコーディネート仕組みを構築します。	【目標】 地域での見守り活動の活性化 【平成23～25年度】 ・事業実施 ・地域の福祉課題の類型化 ・福祉課題の改善と事例の蓄積 ・ネットワーク体制の仕組みづくり 【平成26年度～】 ・地域での福祉活動支援策の再検討	詳細は、別途報告	
○要援護者情報の提供に関する覚書を締結した自治協議会等の数 福岡市から要援護者台帳の情報提供を受ける自治協議会等の数を増やし、要援護者の災害時支援を進めます。	【現状(平成 22 年度)】 78 校区・地区(52.3%) 【目標(平成 27 年度)】 149 校区・地区(100.0%)	97 校区・地区 (65.1%)	107 校区・地区 (71.8%)
○福岡型地域包括ケアシステムの構築 要介護度が重度な在宅生活者へ、医療、介護、予防、生活支援、住まい等、様々なサービスを包括的・継続的に提供する地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。	【目標】 適切に組み合わせられたサービスの提供 【平成 23 年度～】 ・相談支援体制の充実 ・情報の収集と提供の仕組みづくり	第 1 回地域保健福祉専門分科会（9 月 5 日開催）で報告済み。 ① 「福岡型地域包括ケアシステム検討会議（H24 新設）」での検討内容等について ② 平成 25・26 年度に行うモデル事業概要について	

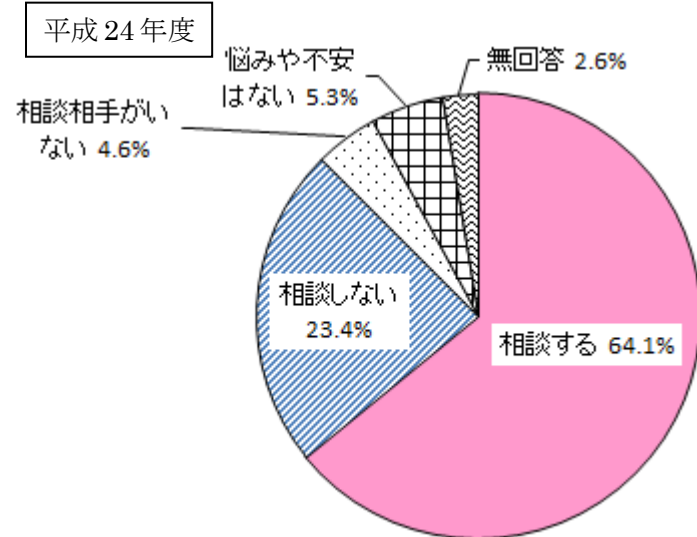
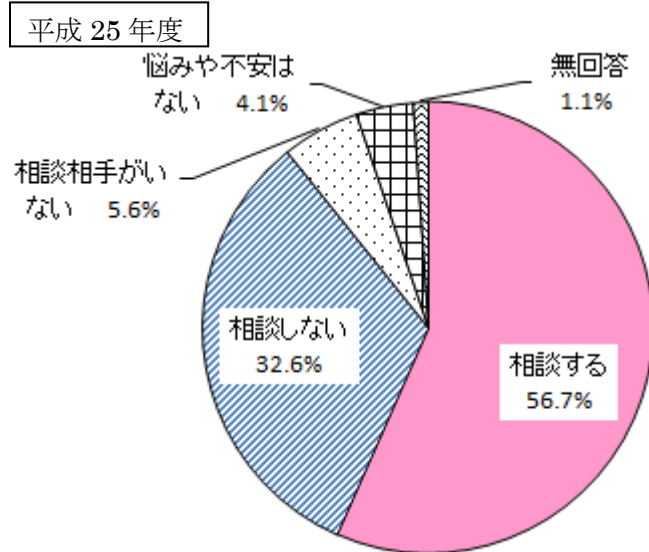
IV 平成 24 及び 25 年度市政アンケート調査結果（抜粋）の比較

注）質問番号は、平成 25 年度調査のものに合わせています。

問 1 2 福岡市の福祉の充実についてどの程度満足していますか。または不満がありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。



問 18 悩みや不安を感じたとき、だれか（どこか）に相談していますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

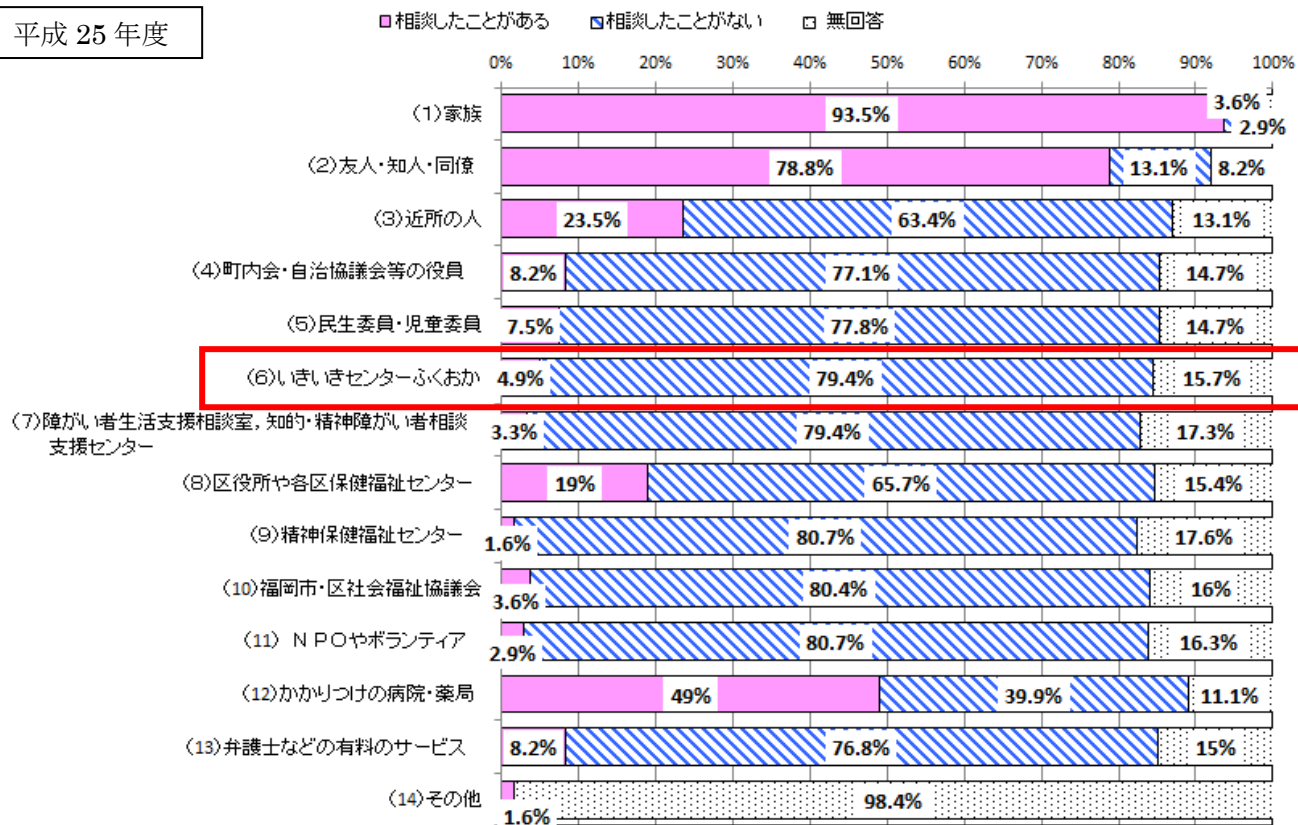


問 19 《 問 18 で「1」と回答した方におたずねします。 》

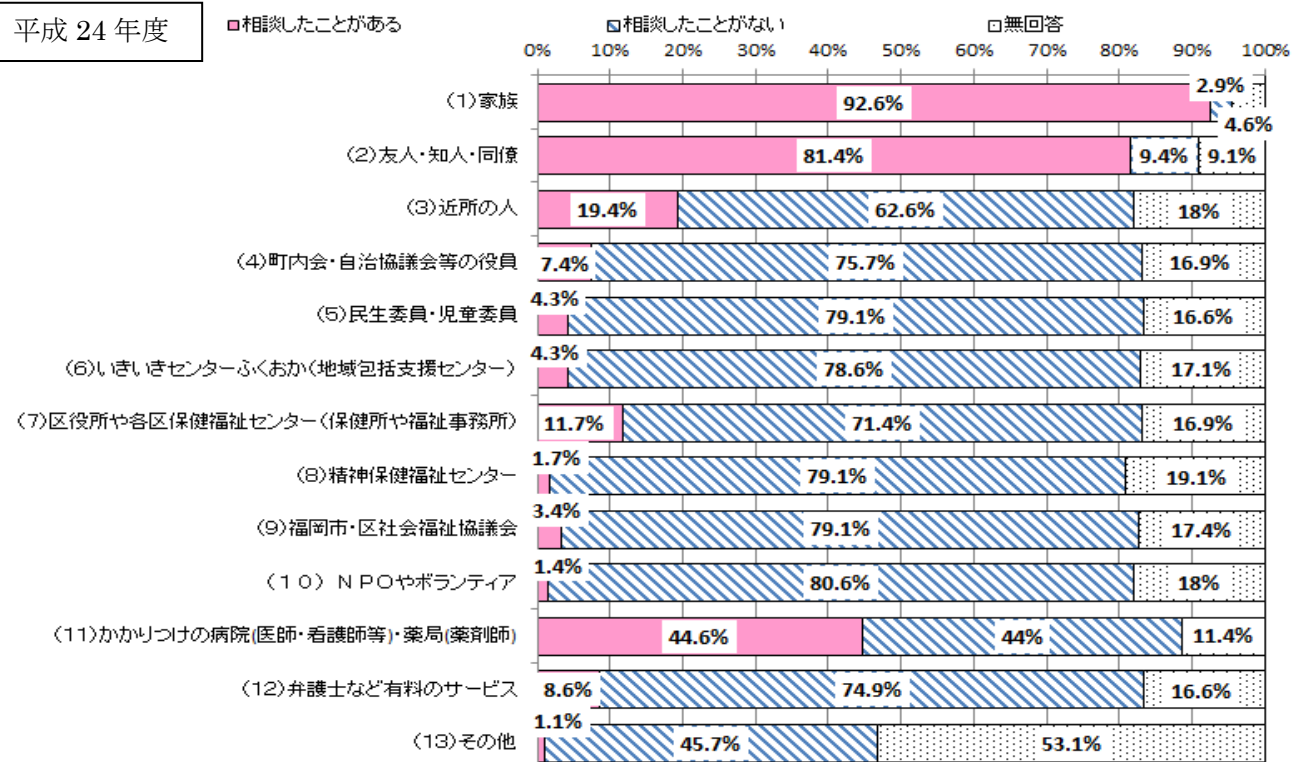
悩みや不安について、①どこに（だれに）相談していますか。また、②相談したことがある場合、相談した結果にどの程度満足していますか。（1）～（14）のそれぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

＜②は①で「2 相談したことがある」に○をつけた項目のみ、回答してください。＞

平成 25 年度



平成 24 年度

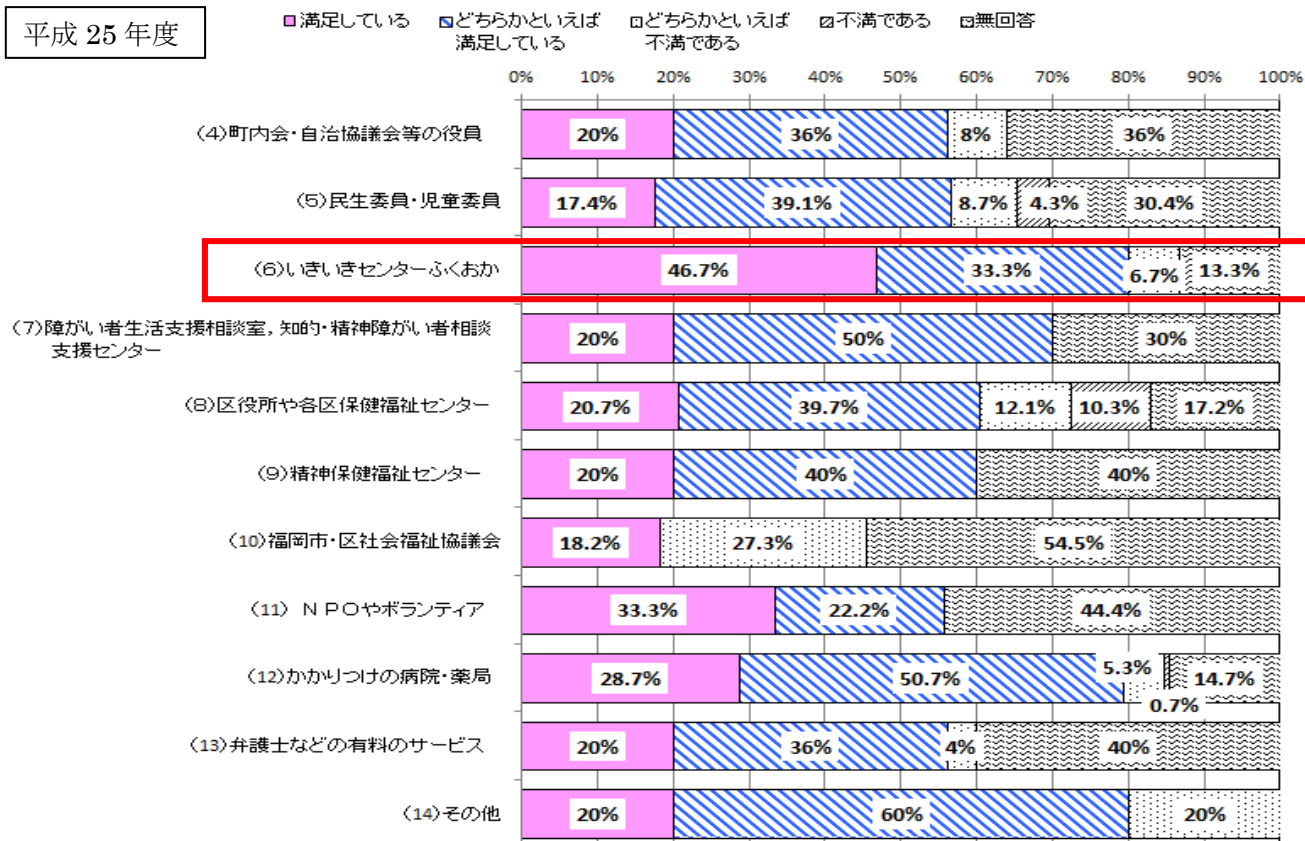


問 19 《 問18で「1」と回答した方におたずねします。 》

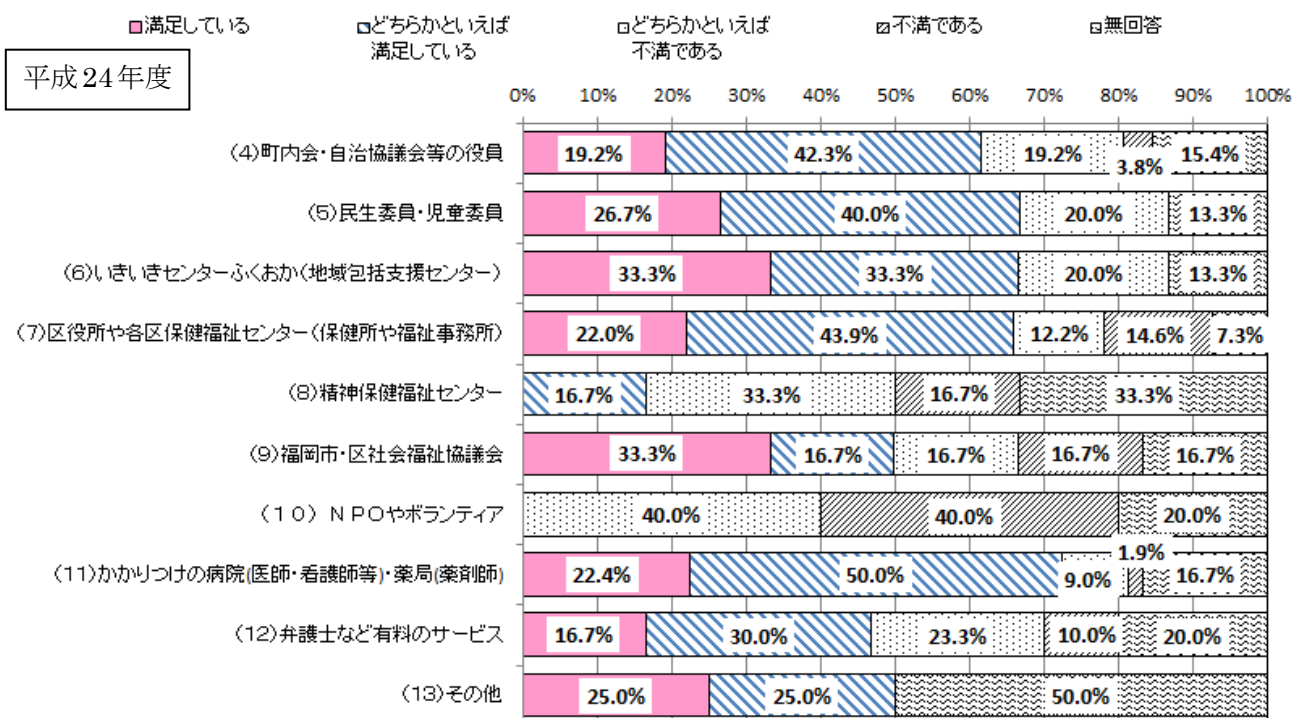
悩みや不安について、①どこに（だれに）相談していますか。また、②相談したことがある場合、相談した結果にどの程度満足していますか。（1）～（14）のそれぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

＜ ②は①で「2相談したことがある」に○をつけた項目のみ、回答してください。 ＞

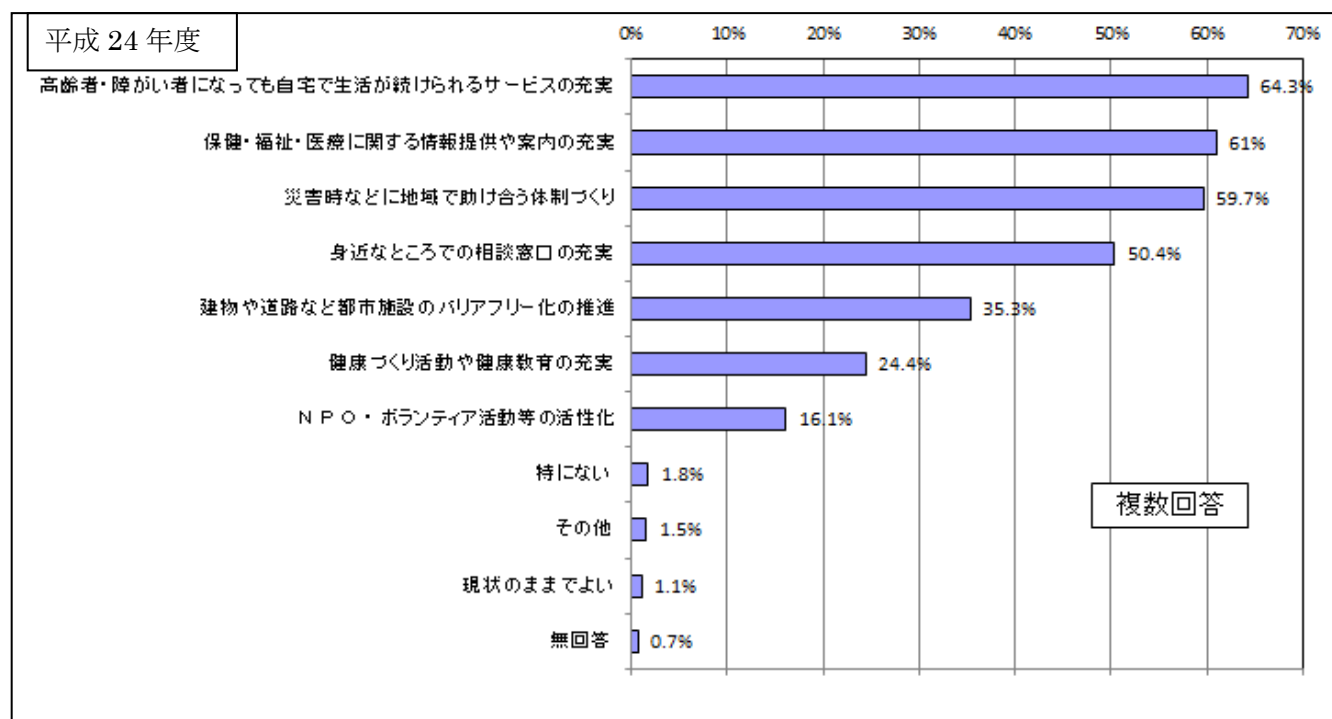
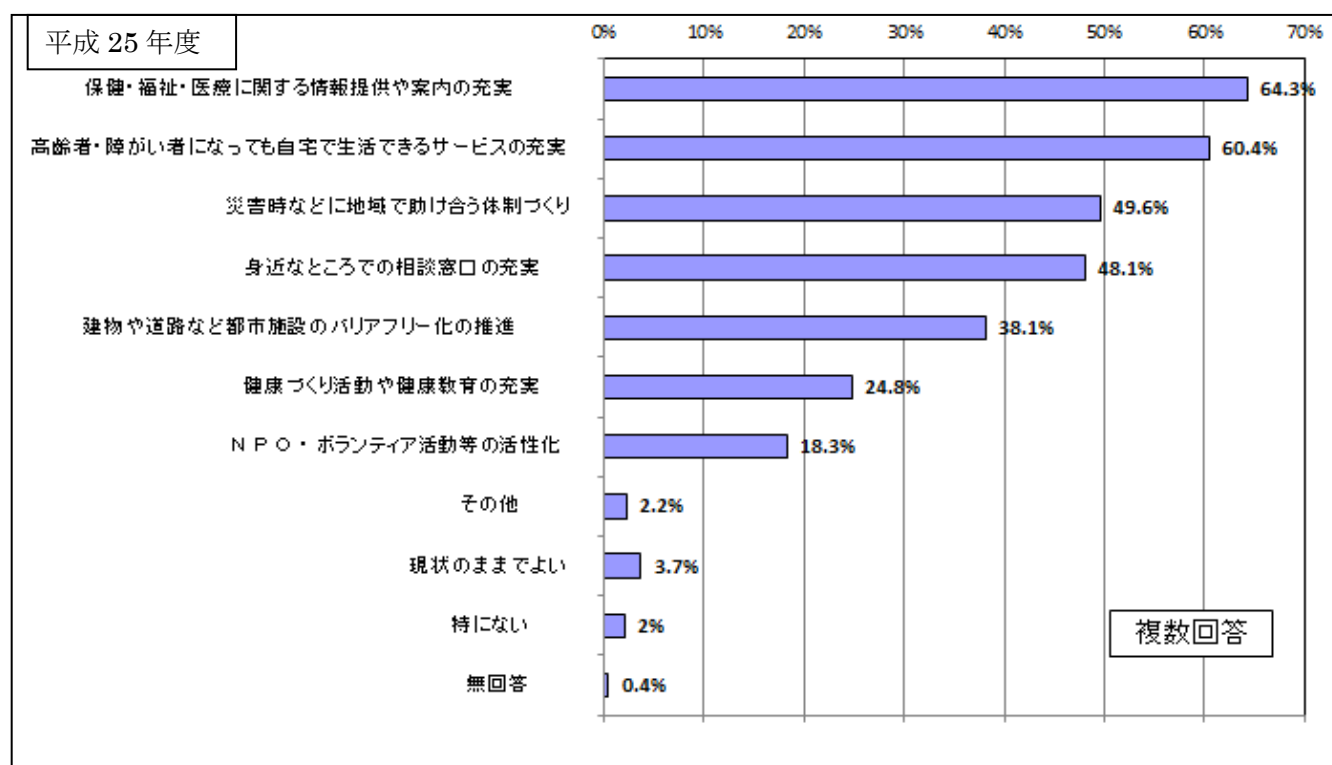
平成 25 年度



平成 24 年度

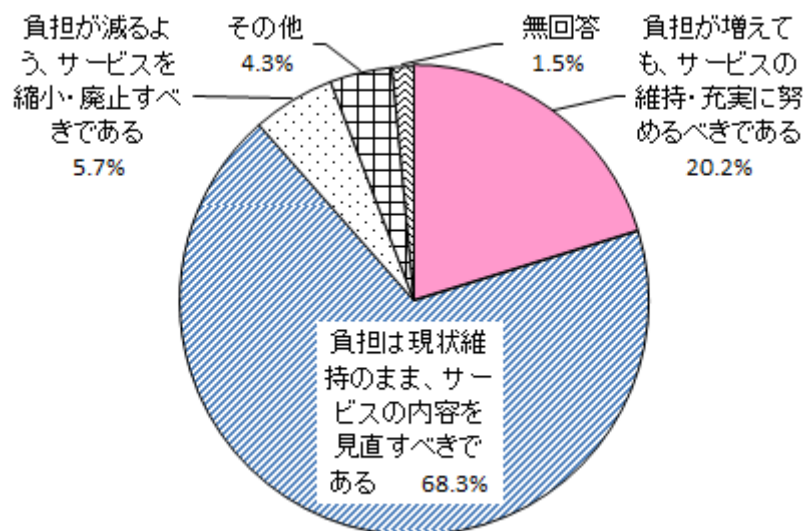


問 26 今後、福岡市では、住みやすいまちをつくるために、保健・医療・福祉の分野において、どのような施策に力を入れて取り組むべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

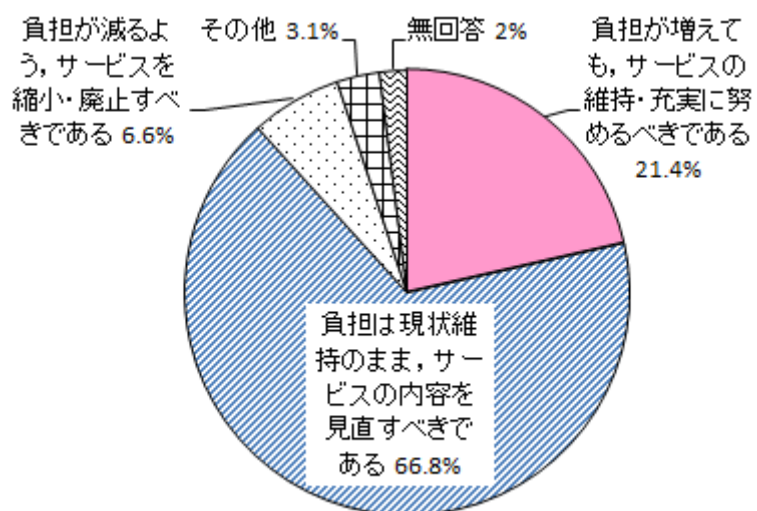


問 27 福岡市が提供する保健・医療・福祉サービスの水準と、その財源として市民全体で負担する税金などのバランスについて、あなたのお考えに最も近いのは、次のどの意見ですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

平成 25 年度



平成 24 年度



V 平成 24 年度地域福祉施策の実施状況について

	事業名	事業概要と実績			
1	緊急通報システム	単身等高齢者に通報装置を貸与し、高齢者の急病等の緊急時に協力員や訪問介護員（ホームヘルパー）がかけつけ、または救急車の要請を行う。			
		年度	22	23	24
		年度末登録者数(人)	5,281	5,734	5,628
2	声の訪問	単身高齢者に定期的に電話し、相談相手となって安否確認や健康状態を把握するとともに、必要な各種サービスの情報を提供する。			
		年度	22	23	24
		年度末登録者数(人)	487	515	487
3	食の自立支援・配食サービス	要介護高齢者等に対し、配食サービスや食事提供関連サービスを計画的につなげて食の自立を図るとともに、安否の確認を行う。			
		年度	22	23	24
		利用者数(人)	675	601	497
4	認知症サポーター養成事業	認知症サポーター(応援者)を養成し、地域住民と共働することで、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを展開する。 ①認知症キャラバン・メイト養成研修 ②認知症サポーター養成講座			
		年度	22	23	24
		認知症サポーター数(人)	7,071	7,466	8,620
5	認知症高齢者家族やすらぎ支援事業	家族が介護疲れ等で休息が必要な時間帯に、ボランティアが居宅を訪問し、認知症高齢者の見守りや話し相手、趣味の手伝いを行い、家族介護者のリフレッシュを図る。 ①支援員養成事業 ②支援員派遣事業			
		年度	22	23	24
		利用家族数(世帯)	21	19	23
		総利用数(回)	293	404	541
6	徘徊高齢者等ネットワーク事業	徘徊のある認知症高齢者を地域等とのネットワークを活用し、早期に発見・保護できるよう努める。 ①登録制度 ②徘徊高齢者等ネットワーク会議 ③一時保護事業 ④GPS検索システム			
		年度	22	23	24
		年度末登録者数(人)	602	565	605
7	日常生活自立支援事業	判断能力の低下した高齢者や障がい者等の地域での生活を支援する。 ①福祉サービスの利用援助 ②日常的金銭管理 ③書類などの預かりサービス			
		年度	22	23	24
		年度末契約者数(人)	290	344	430

	事業名	事業概要と実績																
8	成年後見制度 利用支援事業	成年後見制度普及のための広報活動を行うとともに、身寄りのない認知症高齢者が成年後見人等による支援を受けることができるよう、市長が後見開始等の申立を行うとともに、必要な場合、申立費用及び後見人等報酬の助成を行う。 ①普及啓発事業 ②後見開始等の市長申立 ③後見人報酬等助成事業 <table><tr><th>年度</th><th>22</th><th>23</th><th>24</th></tr><tr><td>市長申立件数(件)</td><td>30</td><td>17</td><td>17</td></tr></table>	年度	22	23	24	市長申立件数(件)	30	17	17								
年度	22	23	24															
市長申立件数(件)	30	17	17															
9	市民後見人養成事業	高齢者などが住み慣れた家庭や地域で安心して尊厳を保ちながら生活することができるよう、認知症高齢者等の増加に伴う成年後見人の新たな担い手として、弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職ではない身近な市民が、後見人として活動するために必要な養成研修を実施する。（平成24年度事業開始） <table><tr><th>年度</th><th>22</th><th>23</th><th>24</th></tr><tr><td>研修実施回数（回）</td><td>－</td><td>－</td><td>1</td></tr><tr><td>研修修了者数（人）</td><td>－</td><td>－</td><td>48</td></tr></table>	年度	22	23	24	研修実施回数（回）	－	－	1	研修修了者数（人）	－	－	48				
年度	22	23	24															
研修実施回数（回）	－	－	1															
研修修了者数（人）	－	－	48															
10	いきいきセンターふくおか運営	高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしく暮らし続けることができるよう、健康や福祉、介護に関する相談を受け、その人の身体状況に適したアドバイスを行うなど、高齢者が自立した生活をするができるよう支援する。 ①総合相談支援業務 ②介護予防ケアマネジメント業務 ③権利擁護業務 ④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 <table><tr><th>年度</th><th>22</th><th>23</th><th>24</th></tr><tr><td>設置数(箇所)</td><td>39</td><td>39</td><td>39</td></tr><tr><td>実相談件数（件）</td><td>21,429</td><td>24,288</td><td>28,207</td></tr><tr><td>延相談件数（件）</td><td>89,546</td><td>106,241</td><td>121,020</td></tr></table>	年度	22	23	24	設置数(箇所)	39	39	39	実相談件数（件）	21,429	24,288	28,207	延相談件数（件）	89,546	106,241	121,020
年度	22	23	24															
設置数(箇所)	39	39	39															
実相談件数（件）	21,429	24,288	28,207															
延相談件数（件）	89,546	106,241	121,020															
11	消費者啓発地域支援事業	公民館や自治協議会、老人クラブ、社会福祉協議会などを対象に、悪質商法をテーマとした出前講座を開催するとともに、身近な地域において高齢者に悪質商法の手口や対処法を伝達する「ご近所ボランティア」の育成を行う。 ①高齢者・高齢者周辺対象消費者教育出前講座 ②「悪質商法にNO！ご近所ボランティア」育成講座 <table><tr><th>年度</th><th>22</th><th>23</th><th>24</th></tr><tr><td>消費者教育出前講座参加者数(人)</td><td>1,345</td><td>1,351</td><td>1,267</td></tr><tr><td>ご近所ボランティア育成講座・情報交換会(回)</td><td>6</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>ご近所ボランティア年度末登録者数(人)</td><td>91</td><td>15</td><td>259</td></tr></table>	年度	22	23	24	消費者教育出前講座参加者数(人)	1,345	1,351	1,267	ご近所ボランティア育成講座・情報交換会(回)	6	3	3	ご近所ボランティア年度末登録者数(人)	91	15	259
年度	22	23	24															
消費者教育出前講座参加者数(人)	1,345	1,351	1,267															
ご近所ボランティア育成講座・情報交換会(回)	6	3	3															
ご近所ボランティア年度末登録者数(人)	91	15	259															

	事業名	事業概要と実績																
12	地域福祉ソーシャルワーカーモデル事業	地域福祉ソーシャルワーカーをモデル的に配置し、地域で行われる福祉活動を支援して、孤立した高齢者の把握や予防の体制づくりについて検討する。 <table><tr><td>年度</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>実施校区数</td><td>－</td><td>6</td><td>8</td></tr><tr><td>見守り体制づくりの会議参加数</td><td>－</td><td>47</td><td>93</td></tr></table>	年度	22	23	24	実施校区数	－	6	8	見守り体制づくりの会議参加数	－	47	93				
年度	22	23	24															
実施校区数	－	6	8															
見守り体制づくりの会議参加数	－	47	93															
13	ふれあいサロン	一人暮らし高齢者などの孤独感の解消や、寝たきり、認知症の予防を図るため、公民館や集会所等で、地域のボランティアとともにレクリエーション活動や健康チェックなどを定期的に行う。 <table><tr><td>年度</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>助成校区数（校区）</td><td>135</td><td>134</td><td>139</td></tr><tr><td>実施箇所数（箇所）</td><td>282</td><td>292</td><td>316</td></tr><tr><td>参加者数（人）</td><td>7, 553</td><td>7, 779</td><td>8, 095</td></tr></table>	年度	22	23	24	助成校区数（校区）	135	134	139	実施箇所数（箇所）	282	292	316	参加者数（人）	7, 553	7, 779	8, 095
年度	22	23	24															
助成校区数（校区）	135	134	139															
実施箇所数（箇所）	282	292	316															
参加者数（人）	7, 553	7, 779	8, 095															
14	ふれあいネットワーク	高齢者等の支援を要する人が地域で安心して暮らすことができるよう、地域のボランティアが日常的な見守りや買い物、ゴミ出し等の生活支援を行う。 <table><tr><td>年度</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>助成校区数</td><td>129</td><td>128</td><td>127</td></tr><tr><td>自治会・町内会数</td><td>1, 635</td><td>1, 638</td><td>1, 648</td></tr></table>	年度	22	23	24	助成校区数	129	128	127	自治会・町内会数	1, 635	1, 638	1, 648				
年度	22	23	24															
助成校区数	129	128	127															
自治会・町内会数	1, 635	1, 638	1, 648															
15	安心情報キット	一人暮らし高齢者や障がい者などの地域での見守りや災害時に支援が必要な方に、安心情報キット（「かかりつけ医」などの医療情報や緊急連絡先を記載した用紙と専用容器）を配付し、災害時や緊急時の万一の備えとするもの。 <table><tr><td>年度</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>配付数</td><td>－</td><td>－</td><td>30, 658</td></tr></table>	年度	22	23	24	配付数	－	－	30, 658								
年度	22	23	24															
配付数	－	－	30, 658															
16	災害時要援護者への支援体制整備	災害時要援護者が安全かつ迅速に避難できるよう、地域住民による避難支援体制の構築支援や、福祉施設との連携による福祉避難所の設置等を進める。 <table><tr><td>年度</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>要援護者情報の提供に関する覚書締結自治協議会数</td><td>97</td><td>107</td></tr><tr><td>福祉避難所設置数（箇所）</td><td>71</td><td>72</td></tr></table>	年度	23	24	要援護者情報の提供に関する覚書締結自治協議会数	97	107	福祉避難所設置数（箇所）	71	72							
年度	23	24																
要援護者情報の提供に関する覚書締結自治協議会数	97	107																
福祉避難所設置数（箇所）	71	72																

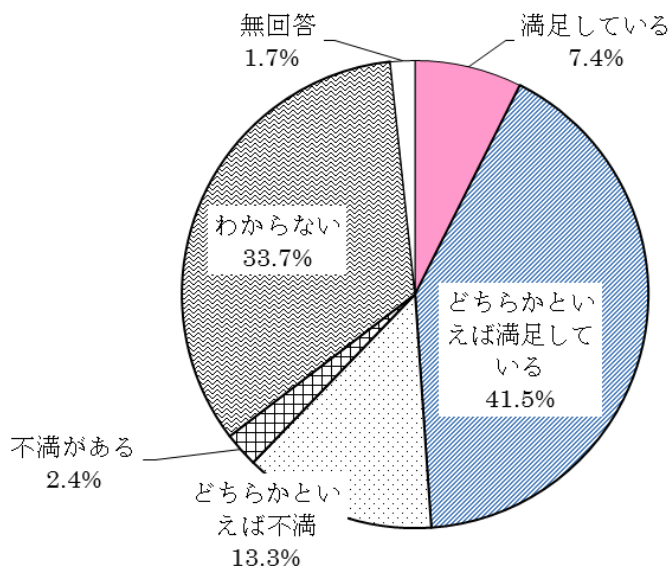
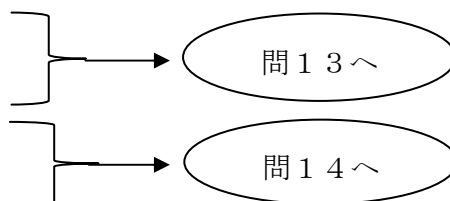
参考資料

【参考】平成 25 年度第 3 回市政アンケート調査結果と分析

注) 平成 25 年度第 3 回市政アンケート調査で問 12～問 27 として調査したものです。

問 1 2 福岡市の福祉の充実についてどの程度満足していますか。または不満がありますか。あてはまるものを 1 つ 選び、番号に○をつけてください。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらかといえば不満
- 4 不満がある
- 5 わからない



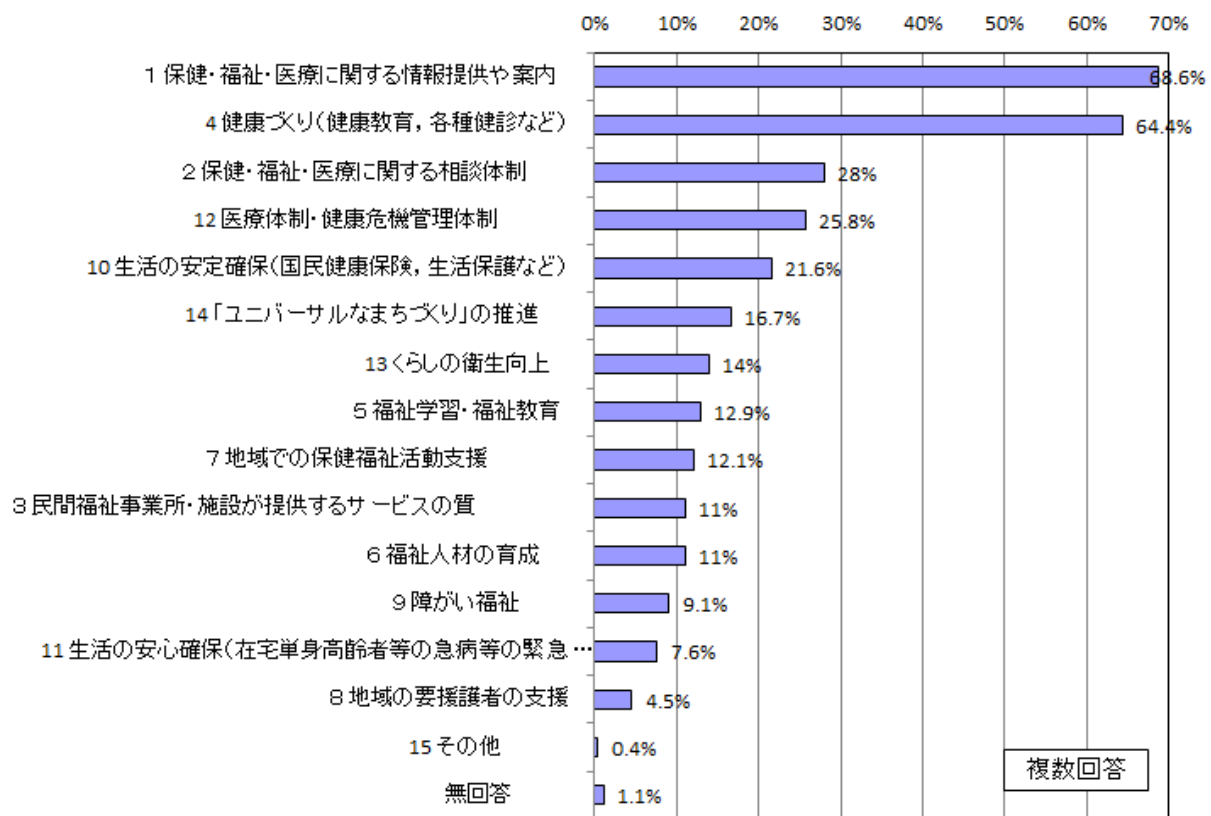
福岡市の福祉の充実度についての満足度を見ると、「満足している」(7.4%)、「どちらかという満足している」(41.5%)を合わせた『満足している』人の割合が 48.9%と、「どちらかといえば不満」(13.3%)、「不満がある」(2.4%)を合わせた『不満がある』人の割合の 15.7%より多くなっています。

問13 《問12で「1」「2」と回答した方におたずねします。》

満足しているのはどんな内容ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 保健・福祉・医療に関する情報提供や案内
- 2 保健・福祉・医療に関する相談体制
- 3 民間福祉事業所・施設（特別養護老人ホームなど）が提供するサービスの質
- 4 健康づくり（健康教育、各種健診（検診）など）
- 5 福祉学習・福祉教育（学校での福祉教育、公民館での出前講座など）
- 6 福祉人材の育成（民生委員・児童委員の担い手確保など）
- 7 地域での保健福祉活動支援（福岡市・区社会福祉協議会と連携した地域活動など）
- 8 地域の要援護者の支援（災害時要援護者台帳の整備など）
- 9 障がい福祉（障がい児の教育、社会参加支援など）
- 10 生活の安定確保（国民健康保険、生活保護など）
- 11 生活の安心確保（在宅単身高齢者等の急病等の緊急時対応事業など）
- 12 医療体制・健康危機管理体制（救急医療、感染症対策など）
- 13 暮らしの衛生向上（食品安全衛生、動物愛護・適正飼育など）
- 14 「ユニバーサルなまちづくり」の推進（建物や道路など都市施設のバリアフリー化※ など）
- 15 その他（具体的に）

※ 『バリアフリー化』とは、高齢者や障がいのある人などの生活行動に障がい（バリア）となるものを取り除いた環境づくりのことです。

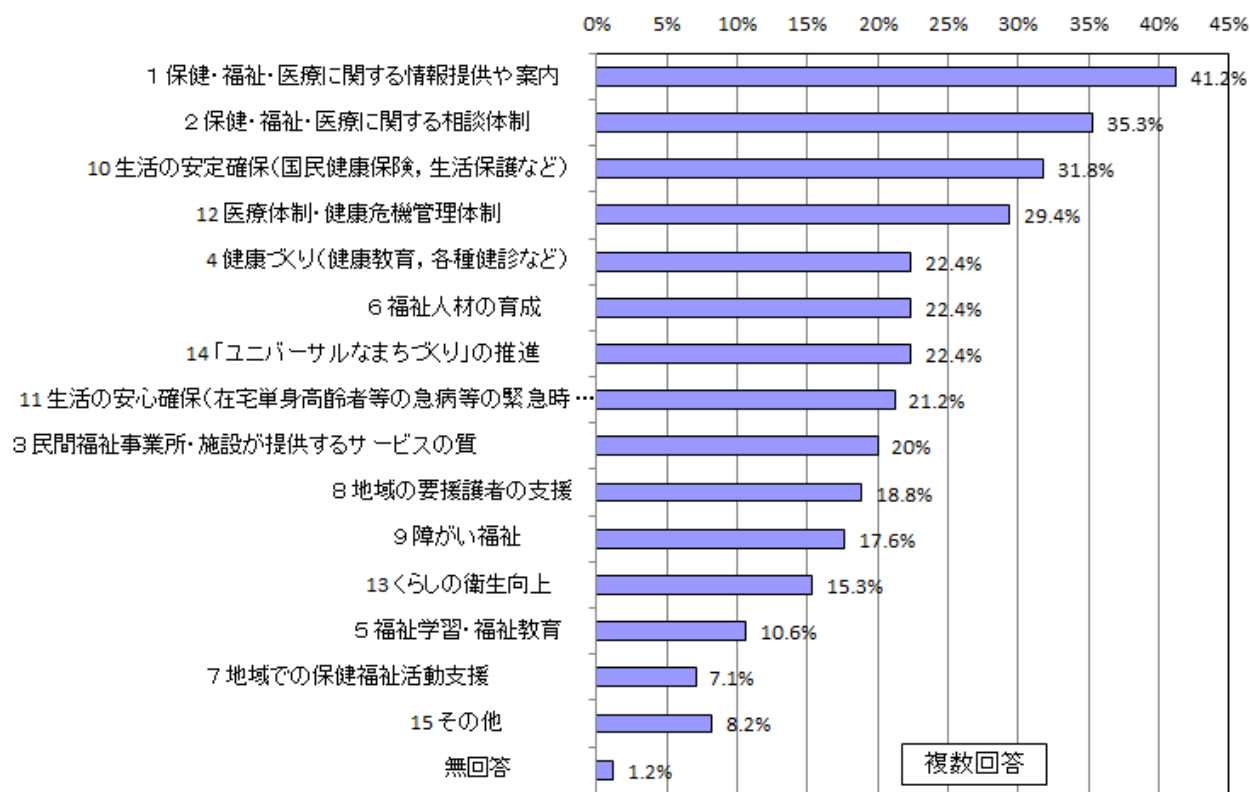


問14 《問12で「3」「4」と回答した方におたずねします。》

不満があるのはどんな内容ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 保健・福祉・医療に関する情報提供や案内
- 2 保健・福祉・医療に関する相談体制
- 3 民間福祉事業所・施設（特別養護老人ホームなど）が提供するサービスの質
- 4 健康づくり（健康教育、各種健診（検診）など）
- 5 福祉学習・福祉教育（学校での福祉教育、公民館での出前講座など）
- 6 福祉人材の育成（民生委員・児童委員の担い手確保など）
- 7 地域での保健福祉活動支援（福岡市・区社会福祉協議会と連携した地域活動など）
- 8 地域の要援護者の支援（災害時要援護者台帳の整備など）
- 9 障がい福祉（障がい児の教育、社会参加支援など）
- 10 生活の安定確保（国民健康保険、生活保護など）
- 11 生活の安心確保（在宅単身高齢者等の急病等の緊急時対応事業など）
- 12 医療体制・健康危機管理体制（救急医療、感染症対策など）
- 13 暮らしの衛生向上（食品安全衛生、動物愛護・適正飼育など）
- 14 「ユニバーサルなまちづくり」の推進（建物や道路など都市施設のバリアフリー化※ など）
- 15 その他（具体的に： ）

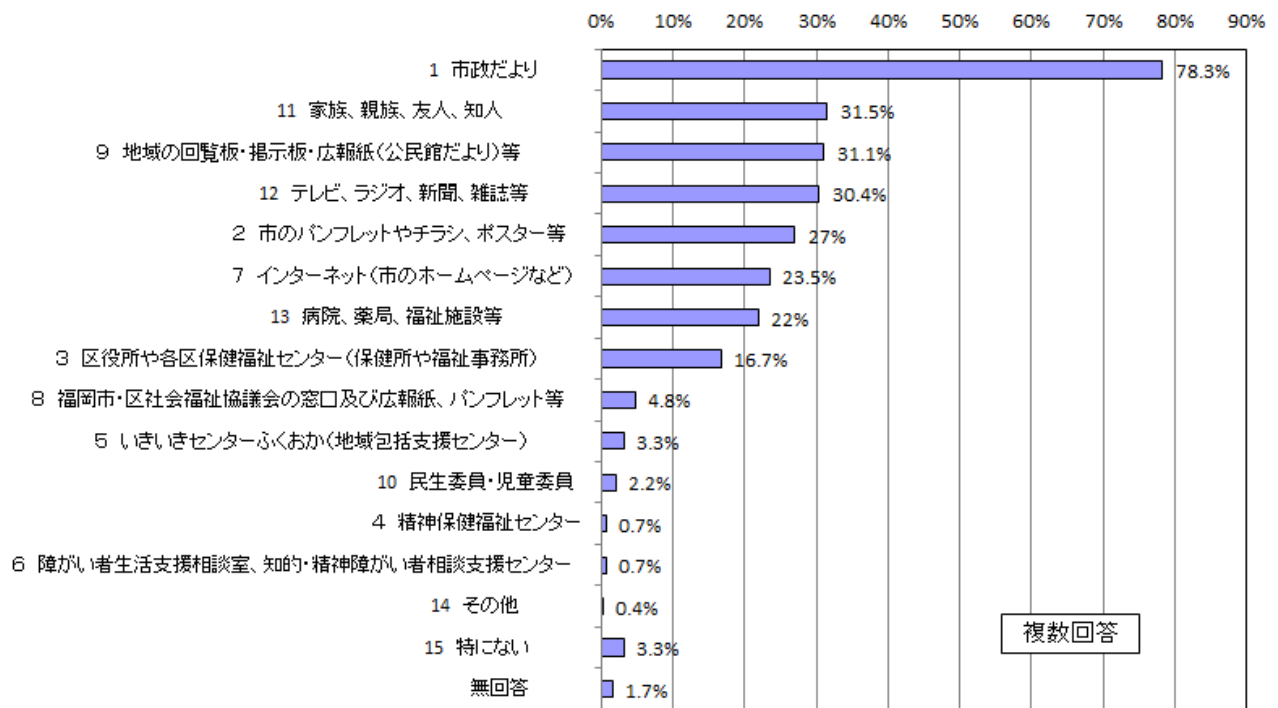
※ 『バリアフリー化』とは、高齢者や障がいのある人などの生活行動に障がい（バリア）となるものを取り除いた環境づくりのことです。



《 すべての方におたずねします。 》

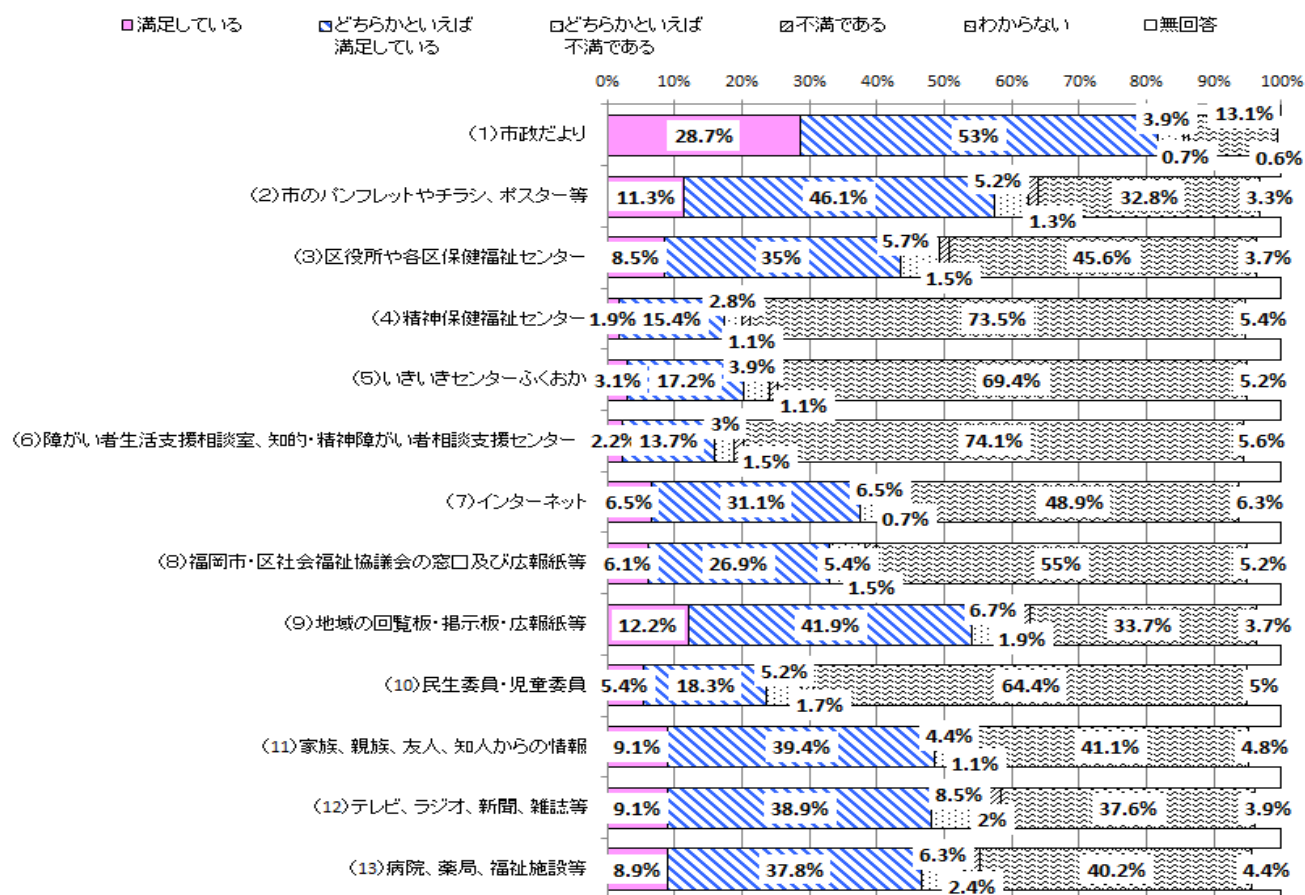
問 15 保健・医療・福祉に関する情報をどこから（だれから）得ていますか。あてはまるものを
すべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 市政だより
- 2 市のパンフレットやチラシ、ポスター等
- 3 区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）
- 4 精神保健福祉センター
- 5 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
- 6 障がい者生活支援相談室、知的・精神障がい者相談支援センター
- 7 インターネット（市のホームページなど）
- 8 福岡市・区社会福祉協議会の窓口及び広報紙、パンフレット等
- 9 地域の回覧板・掲示板・広報紙（公民館だより等）等
- 10 民生委員・児童委員
- 11 家族、親族、友人、知人
- 12 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等
- 13 病院、薬局、福祉施設等
- 14 その他（具体的に： _____）
- 15 特にない



問 16 下表の(1)～(13)が提供する保健・医療・福祉の情報について、どの程度満足していますか。
それぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

	満足している	満足している どちらかといえば	不満である どちらかといえば	不満である	わからない
(1) 市政だより	1	2	3	4	5
(2) 市のパンフレットやチラシ、ポスター等	1	2	3	4	5
(3) 区役所や各区保健福祉センター (保健所や福祉事務所)	1	2	3	4	5
(4) 精神保健福祉センター	1	2	3	4	5
(5) いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター)	1	2	3	4	5
(6) 障がい者生活支援相談室、知的・精神障がい者 相談支援センター	1	2	3	4	5
(7) インターネット(市のホームページなど)	1	2	3	4	5
(8) 福岡市・区社会福祉協議会の窓口及び 広報紙、パンフレット等	1	2	3	4	5
(9) 地域の回覧板・掲示板 広報紙(公民館だより等)等	1	2	3	4	5
(10) 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
(11) 家族、親族、友人、知人からの情報	1	2	3	4	5
(12) テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	1	2	3	4	5
(13) 病院、薬局、福祉施設等	1	2	3	4	5



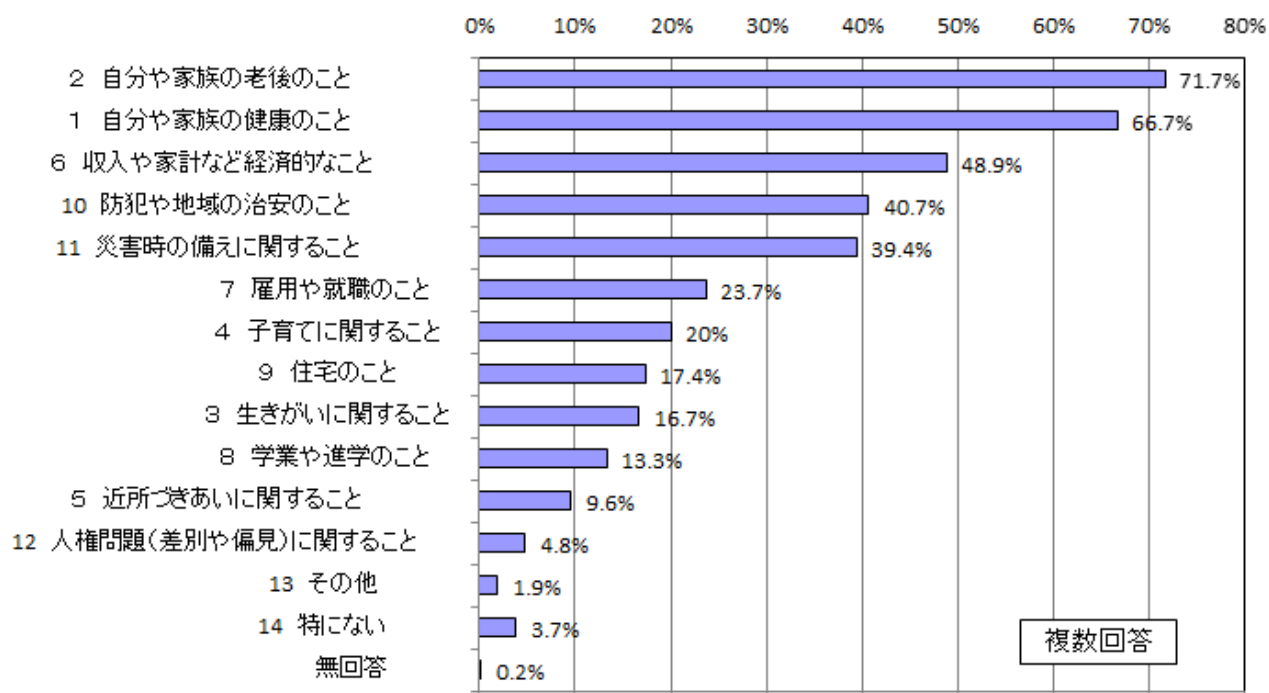
保健・医療・福祉に関する情報提供について、どの程度満足しているかについては、「満足している」(28.7%)、「どちらかといえば満足している」(53.0%)を合わせた『満足している』人の割合は、「(1) 市政だより」が81.7%で最も高く、次いで「(2) 市のパンフレットやチラシ、ポスター等」(57.4%)、「(9) 地域の回覧板・掲示板・広報紙（公民館だより）等」(54.1%)、「(11) 家族、親族、友人、知人からの情報」(48.5%)、「(12) テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」(48.0%)、「(13) 病院、薬局、福祉施設等」(46.7%)などの順でした。

「満足している」＋「どちらかといえば満足している」		
1	(1) 市政だより	81.7%
2	(2) 市のパンフレットやチラシ・ポスター等	57.4%
3	(9) 地域の回覧板・掲示板・広報紙（公民館だより）等	54.1%
4	(12) テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	48.5%
5	(13) 病院、薬局、福祉施設等	48.0%

「不満である」＋「どちらかといえば不満である」		
1	(12) テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	10.5%
2	(13) 病院、薬局、福祉施設等	8.7%
3	(9) 地域の回覧板・掲示板・広報紙（公民館だより）等	8.6%
4	(3) 区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）	7.2%
5	(7) インターネット	7.2%

問17 普段、どのような悩みや不安を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

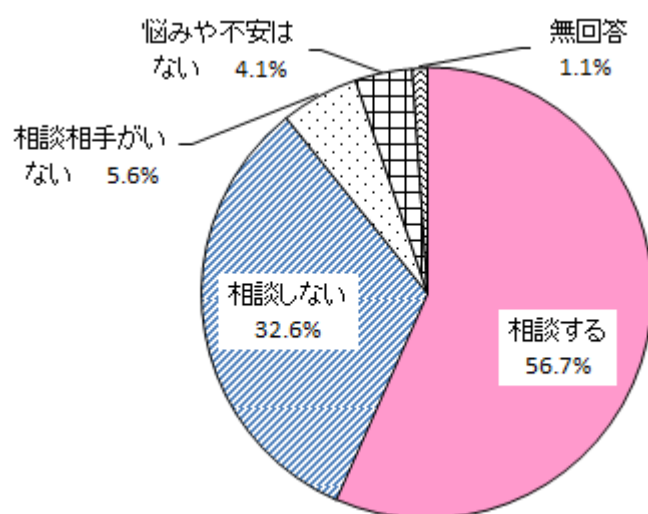
- 1 自分や家族の健康のこと
- 2 自分や家族の老後のこと
- 3 生きがいに関すること
- 4 子育てに関すること
- 5 近所づきあいに関すること
- 6 収入や家計など経済的なこと
- 7 雇用や就職のこと
- 8 学業や進学のこと
- 9 住宅のこと
- 10 防犯や地域の治安のこと
- 11 災害時の備えに関すること
- 12 人権問題（差別や偏見）に関すること
- 13 その他（具体的に： _____）
- 14 特にない



問 18 悩みや不安を感じたとき、だれか（どこか）に相談していますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 相談する
- 2 相談しない
- 3 相談相手がない
- 4 悩みや不安はない

問 19 へ



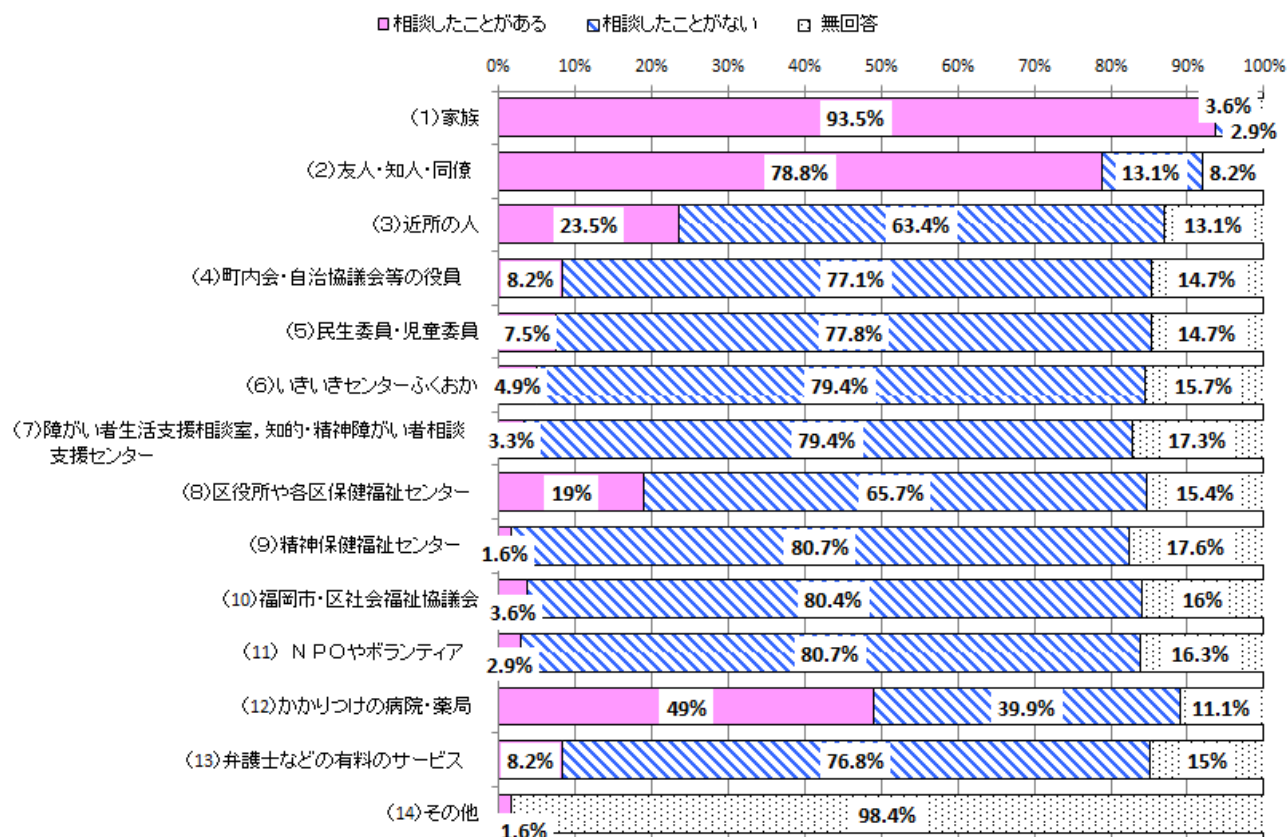
問19 《問18で「1」と回答した方におたずねします。》

悩みや不安について、①どこに（だれに）相談していますか。また、②相談したことがある場合、相談した結果にどの程度満足していますか。（1）～（14）のそれぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

＜②は①で「2相談したことがある」に○をつけた項目のみ、回答してください。＞

	① 相談の有無		② 相談したことがある場合			
	相談したことがない	相談したことがある	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である
(1) 家族	1	2				
(2) 友人・知人・同僚	1	2				
(3) 近所の人	1	2				
(4) 町内会・自治協議会等の役員	1	2	3	4	5	6
(5) 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5	6
(6) いきいきセンターふくおか （地域包括支援センター）	1	2	3	4	5	6
(7) 障がい者生活支援相談室、知的・ 精神障がい者相談支援センター	1	2	3	4	5	6
(8) 区役所や各区保健福祉センター （保健所や福祉事務所）	1	2	3	4	5	6
(9) 精神保健福祉センター	1	2	3	4	5	6
(10) 福岡市・区社会福祉協議会	1	2	3	4	5	6
(11) NPOやボランティア	1	2	3	4	5	6
(12) かかりつけの病院(医師・看護師 等)・薬局(薬剤師)	1	2	3	4	5	6
(13) 弁護士など有料のサービス	1	2	3	4	5	6
(14) その他 （具体的に:)	1	2	3	4	5	6

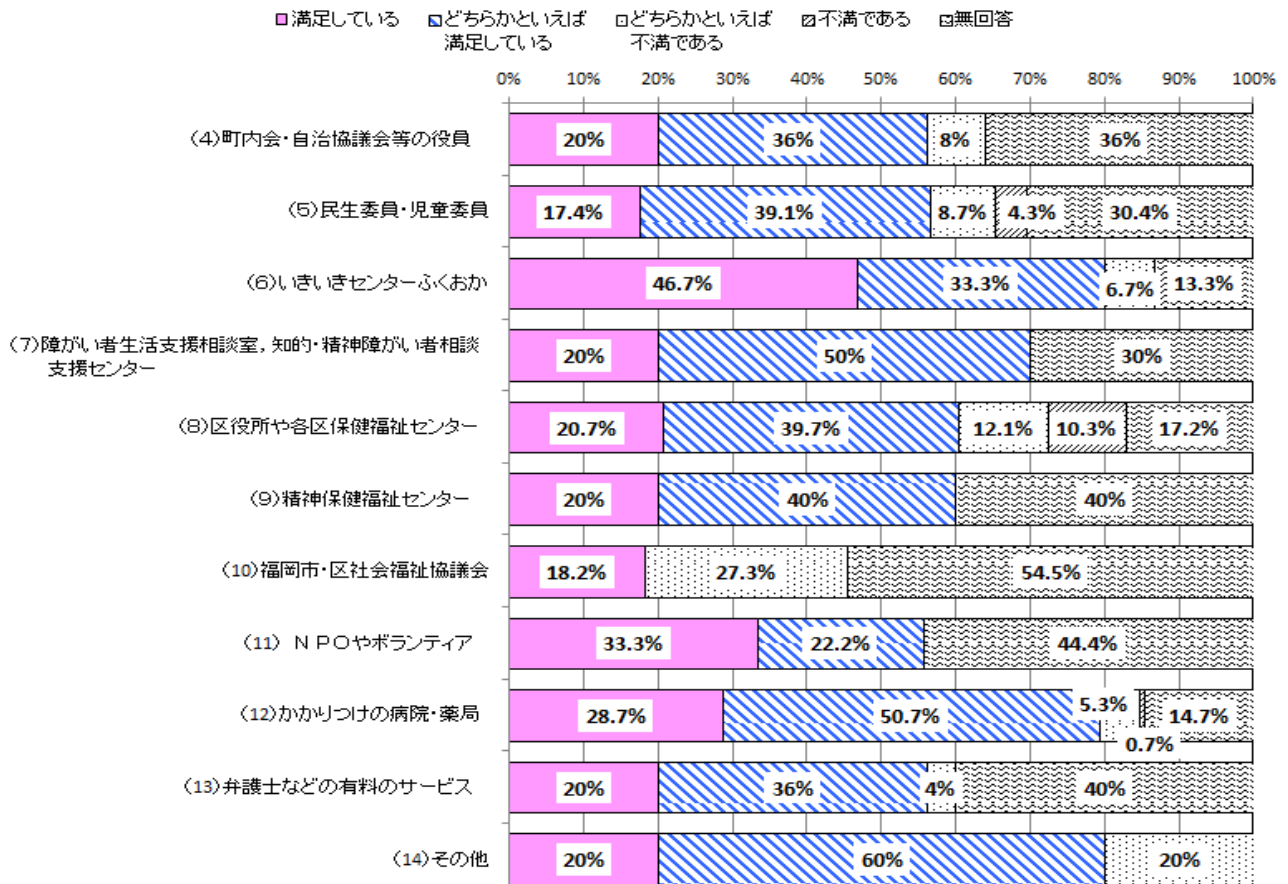
①



悩みや不安について、どこに（だれに）相談しているかについては、「（１）家族」が 93.5% で最も多く、次いで「（２）友人・知人・同僚」（78.8%）, 「（12）かかりつけの病院（医師・看護師等）・薬局（薬剤師）」（49.0%）などの順となっています。行政機関の相談窓口である「（８）区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）」を挙げた人は 19.0% で５番目に高い割合でしたが, 「（６）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」（4.9%）, 「（８）精神保健福祉センター」（1.6%）, 「（５）民生委員・児童委員」（7.5%）, 「（10）福岡市・区社会福祉協議会」（3.6%）は低い水準にとどまっています。

「満足している」＋「どちらかといえば満足している」		
1	(6) いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター） (14) その他	80.0%
2	(12) かかりつけの病院（医師・看護師等）・薬局（薬剤師）	79.4%
3	(7) 障がい者生活支援相談室, 知的・精神障がい者相談支援センター	70.0%
4	(8) 区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）	60.4%
5	(9) 精神保健福祉センター	60.0%

②



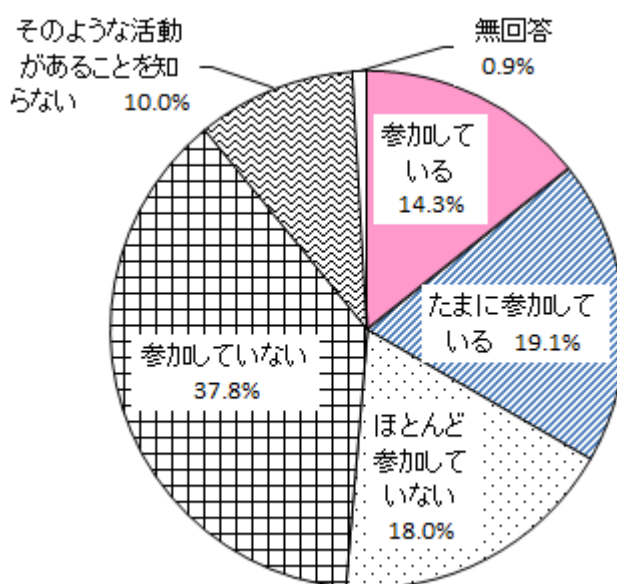
また、相談した結果にどの程度満足しているかについては、「家族」「友人・知人・同僚」、「近所の人」を除くと、「(6) いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」が 80.0%で最も満足度が高く、次いで、「(12) かかりつけの病院（医師・看護師等）・薬局（薬剤師）」(79.4%)、「(7) 障がい者生活支援相談室，知的・精神障がい者相談支援センター」(70.0%)、「(8) 区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）」(60.4%) などの順でした。

「不満である」＋「どちらかといえば不満である」		
1	(10)福岡市・区社会福祉協議会	27.3%
2	(8)区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）	22.4%
3	(14)その他	20.0%
4	(5)民生委員・児童委員	13.0%
5	(4)町内会・自治協議会等の役員	8.0%

《 すべての方におたずねします。 》

問20 住民参加による地域での助け合い、支え合い活動（町内会などが実施する防犯、防災、見守り、環境美化などの活動、その他ボランティア）に参加していますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 参加している
- 2 たまに参加している
- 3 ほとんど参加していない
- 4 参加していない
- 5 そのような活動があることを知らない



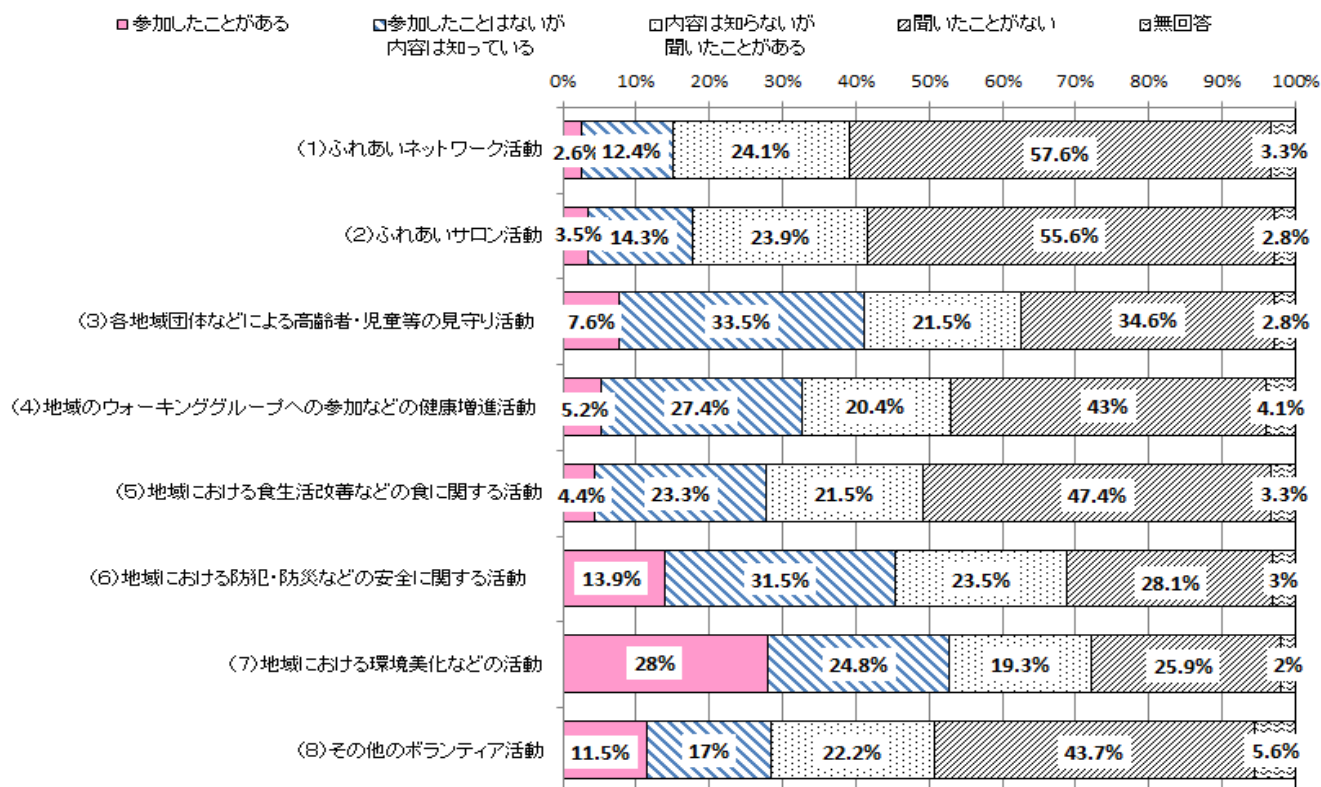
住民参加による地域での支え合い活動への参加状況を見ると、「参加している」(14.3%)、「たまに参加している」(19.1%)を合わせた『参加している』人の割合は33.4%となっています。また、「ほとんど参加していない」(18.0%)、「参加していない」(37.8%)を合わせた『参加していない』人の割合は55.8%と、全体の過半数を占めています。

問 21 地域で行われている以下の保健福祉活動の内容について、過去1年間に、活動内容について見聞きしたり、活動に実際に参加したりしたことはありますか。(1)～(8)のそれぞれの項目についてあてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

	参加したことがある	参加したことはないが内容は知っている	内容は知らないが聞いたことがある	聞いたことがない
(1) ふれあいネットワーク活動 (※1)	1	2	3	4
(2) ふれあいサロン活動 (※2)	1	2	3	4
(3) 各地域団体など（老人クラブ・民生委員など）による 高齢者・児童等の見守り活動	1	2	3	4
(4) 地域のウォーキンググループへの参加などの健康増進活動	1	2	3	4
(5) 地域における食生活改善などの食に関する活動	1	2	3	4
(6) 地域における防犯・防災などの安全に関する活動	1	2	3	4
(7) 地域における環境美化などの活動	1	2	3	4
(8) その他のボランティア活動	1	2	3	4

(※1)『ふれあいネットワーク活動』とは、地域住民（ボランティア）が各保健福祉関係機関と連携しながら、地域の課題を発見し、話し合い、解決していく小地域での地域福祉活動です。主な内容は、生活支援を必要とする高齢者や障がい者などを必要に応じて訪問し、見守り等の支え合い活動を行います。

(※2)『ふれあいサロン活動』とは、地域住民（ボランティア）と家に閉じこもりがちな高齢者・障がい者などが、公民館や集会所などで行う仲間作りの交流活動です。主な内容は月に1回から4回、健康チェックやレクリエーションなどを行います。

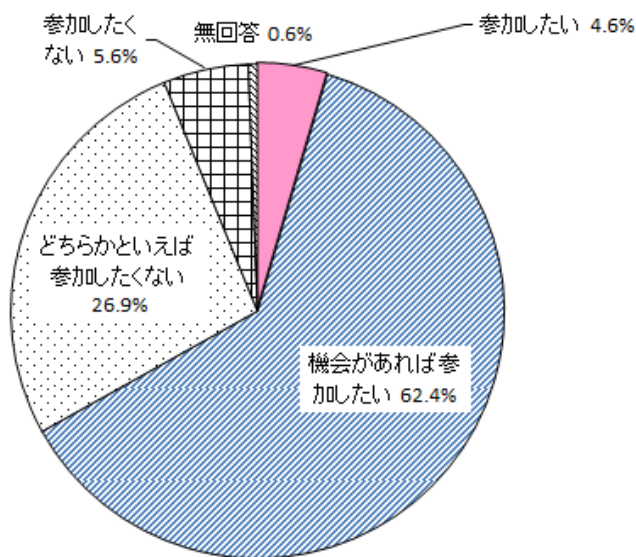


問 22 今後、問 21 に掲げるような住民参加による地域での助け合い、支え合い活動が行われる場合、どのように関わりたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 参加したい
- 2 機会があれば参加したい
- 3 どちらかといえば参加したくない
- 4 参加したくない

問 23 へ

問 24 へ

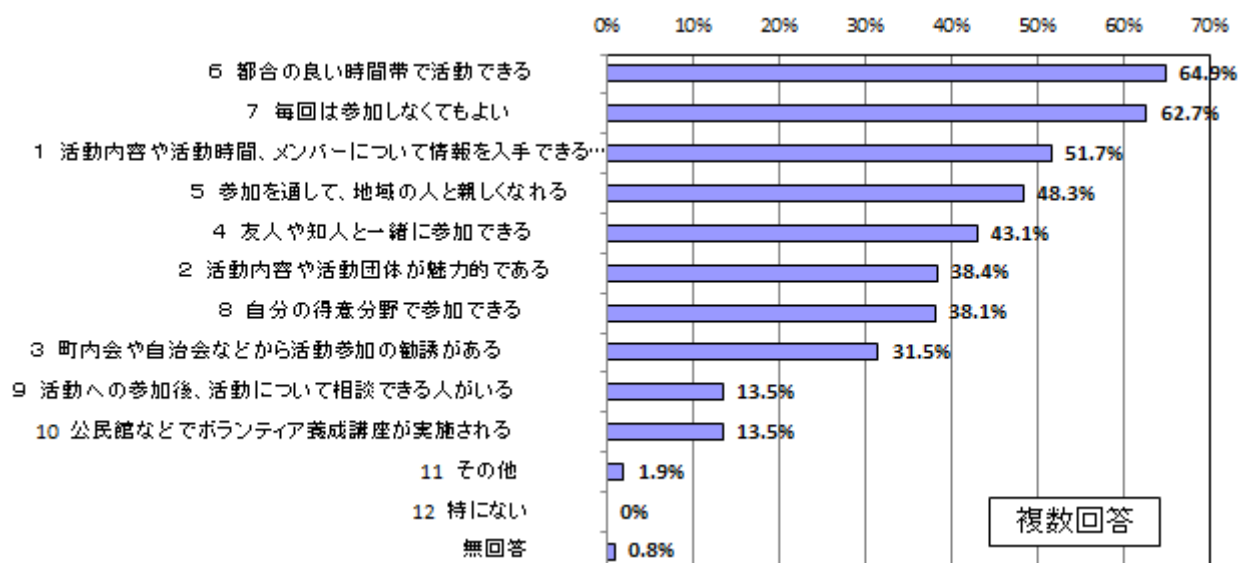


今後の活動への参加意向では、「参加したい」（4.6%）、「機会があれば参加したい」（62.4%）を合わせた『参加意向がある人』は 67.0%であり、問 20 で実際に参加していると答えた人（33.4%）の約 2 倍となっています。

問23 《 問22で「1」「2」と回答した方におたずねします。 》

住民参加による地域での助け合い支え合い活動について、どのような要件があれば参加しやすいと思いますか、あなたの考えに近いものをすべて選び、番号に○をつけてください。

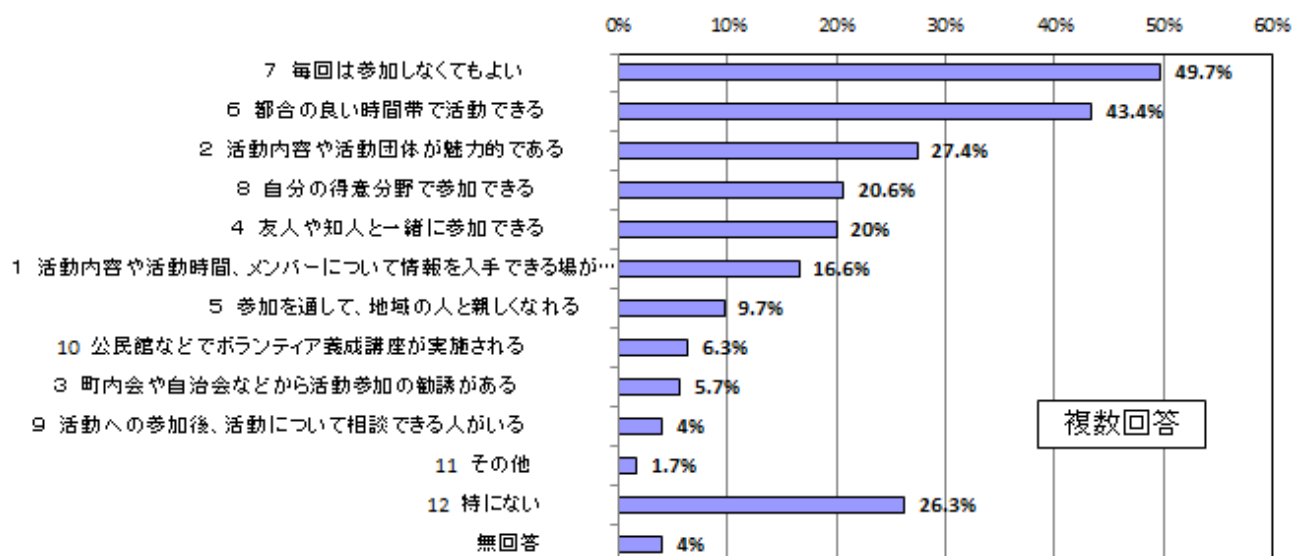
- 1 活動内容や活動時間、メンバーについて、情報を入手できる場がある
- 2 活動内容や活動団体が魅力的である
- 3 町内会や自治会などから活動参加の勧誘がある
- 4 友人や知人と一緒に参加できる
- 5 参加を通して、地域の人と親しくなれる
- 6 都合の良い時間帯で活動できる（日中、夕方、平日、土日など選べる）
- 7 毎回は参加しなくてもよい
- 8 自分の得意分野で参加できる（例：話し相手になる、家事、文書作成など）
- 9 活動への参加後、活動について相談できる人がいる
- 10 公民館などでボランティア養成講座が実施される
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 特にない



問24 《 問22で「3」「4」と回答した方におたずねします。 》

住民参加による地域での助け合い支え合い活動に、どのような仕組みがあれば、参加したいと
考えますか。あなたの考えに近いものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 活動内容や活動時間、メンバーについて、情報を入手できる場がある
- 2 活動内容や活動団体が魅力的である
- 3 町内会や自治会などから活動参加の勧誘がある
- 4 友人や知人と一緒に参加できる
- 5 参加を通して、地域の人と親しくなれる
- 6 都合の良い時間帯で活動できる（日中、夕方、平日、土日など選べる）
- 7 毎回は参加しなくてもよい
- 8 自分の得意分野で参加できる（例：話し相手になる、家事、文書作成など）
- 9 活動への参加後、活動について相談できる人がいる
- 10 公民館などでボランティア養成講座が実施される
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 特にない



《 すべての方におたずねします。 》

問 25 以下の地域の団体等について、過去 1 年の間に、活動内容について見聞きしたり、利用したりしたことはありますか。(1)～(14)のそれぞれの項目についてあてはまるものを1 つずつ選び、番号に○をつけてください。

	利用したことがある	利用したことは無いが内容は知っている	内容は知らないが聞いたことがある	聞いたことがない
(1) 福岡市・区社会福祉協議会	1	2	3	4
(2) 校区社会福祉協議会	1	2	3	4
(3) 福岡市・区ボランティアセンター	1	2	3	4
(4) あんしん生活支援センター(※1)	1	2	3	4
(5) いきいきセンターふくおか(※2) (地域包括支援センター)	1	2	3	4
(6) 障がい者生活支援相談室、知的・精神障がい者 相談支援センター	1	2	3	4
(7) あすみん(※3) (NPO・ボランティア交流センター)	1	2	3	4
(8) 精神保健福祉センター	1	2	3	4
(9) よかよかルーム(※4) (ひきこもり成年地域支援センター)	1	2	3	4
(10) 食生活改善推進員協議会	1	2	3	4
(11) 福岡市・区・校区衛生連合会	1	2	3	4
(12) 民生委員・児童委員	1	2	3	4
(13) 地域福祉ソーシャルワーカー(※5)	1	2	3	4
(14) シルバー人材センター	1	2	3	4

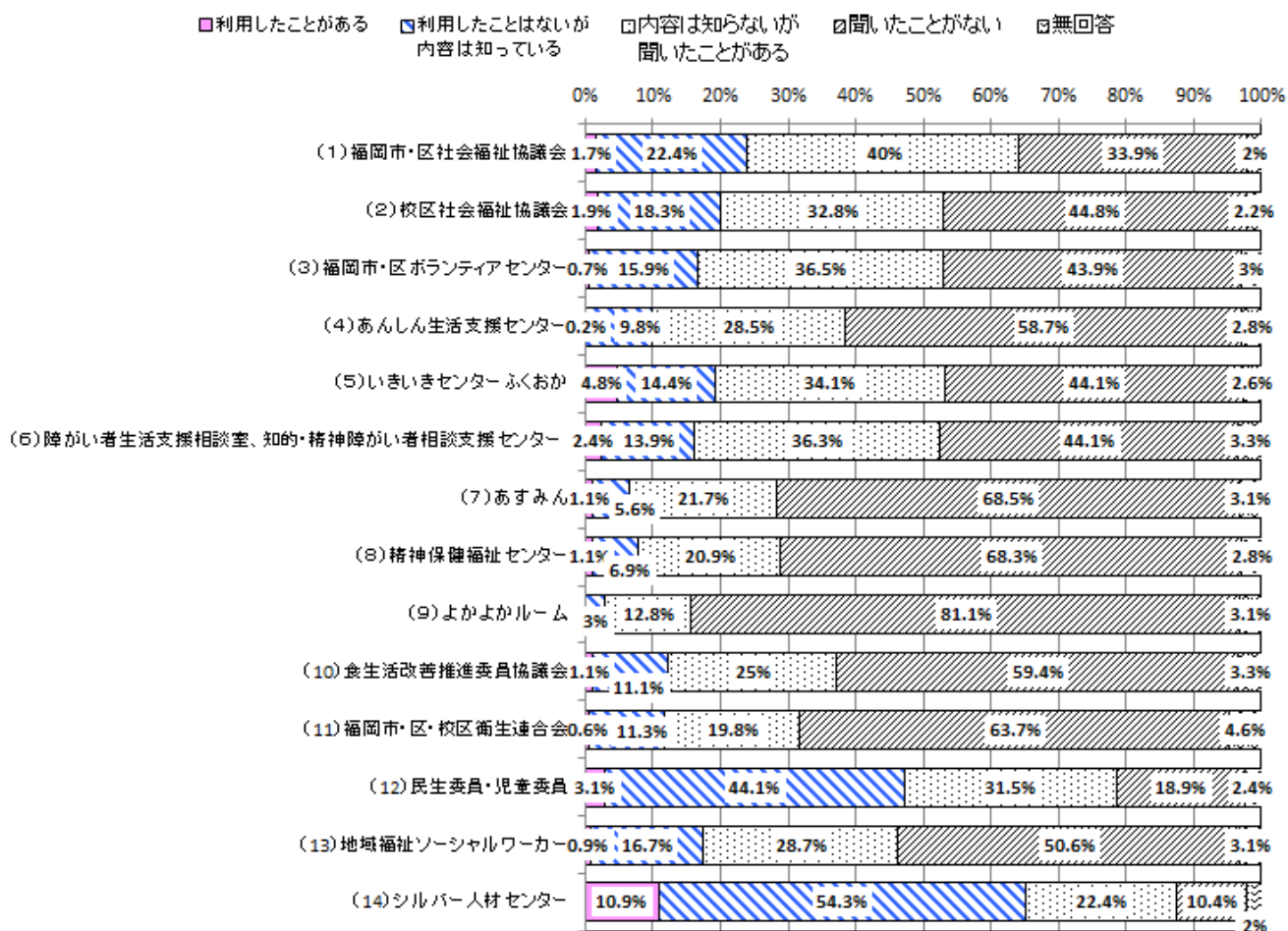
(※1)『あんしん生活支援センター』とは、判断能力が不十分な人を対象に、福祉サービス利用援助や、日常金銭の管理などを有料で行う窓口で、市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)4階にあります。

(※2)『いきいきセンターふくおか』とは、高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしく暮らし続けることができるように、健康や福祉、介護などに関する相談を受けたり、その人の身体状況に最も適したアドバイスを行うなど高齢者が自立した生活を続けていくことができるよう応援するセンターで、市内39か所に設置されています。

(※3)『あすみん』とは、市民主体のまちづくり実現のため、NPOやボランティア活動をはじめとする様々な市民公益活動の情報・交流の拠点として設置された施設で、市立青年センター5階にあります。

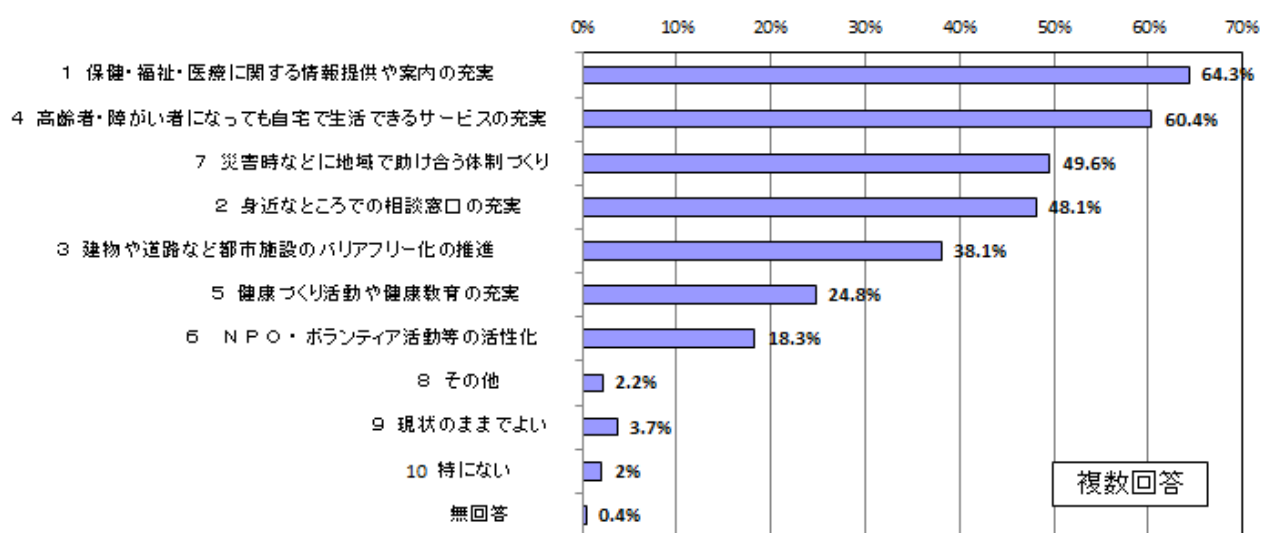
(※4)『よかよかルーム』とは、概ね20歳以上のひきこもり本人やそのご家族、関係者からの電話や面接相談を行っているひきこもりに関する相談窓口で、必要に応じ訪問相談やグループ支援も行っています。

(※5)『地域福祉ソーシャルワーカー』とは、福岡市がモデル的に配置した、いきいきセンターふくおかや区保健福祉センターと協力して地域での見守りのネットワーク構築の支援を行う人のことです。民生委員など地域の見守り活動を行う団体などへの相談・助言を行ったり、地域の孤立しがちな人へ働きかけを行い、インフォーマルなサービスを活用した福祉サービスのコーディネートをするなどの支援を行います。



問 26 今後、福岡市では、住みやすいまちをつくるために、保健・医療・福祉の分野において、どのような施策に力を入れて取り組むべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 保健・福祉・医療に関する情報提供や案内の充実
- 2 身近なところでの相談窓口の充実
- 3 建物や道路など都市施設のバリアフリー化の推進
- 4 高齢者・障がい者になっても自宅で生活が続けられるサービスの充実
- 5 健康づくり活動や健康教育の充実
- 6 NPO・ボランティア活動等の活性化
- 7 災害時などに地域で助け合う体制づくり
- 8 その他（具体的に： _____）
- 9 現状のままでよい
- 10 特にない



問 27 福岡市が提供する保健・医療・福祉サービスの水準と、その財源として市民全体で負担する税金などのバランスについて、あなたのお考えに最も近いのは、次のどの意見ですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 負担が増えても、サービスの維持・充実に努めるべきである
- 2 負担は現状維持のまま、サービスの内容を見直すべきである
- 3 負担が減るよう、サービスを縮小・廃止すべきである
- 4 その他（具体的に： _____）

